

フードバレーとかちの施策展開

～戦略プラン～

フードバレーとかち推進協議会

目 次

1	フードバレーとかちの施策展開（戦略プラン）について	2
2	施策の取り組みの方向性	2
	「農林漁業を成長産業にする」	3
	「食の価値を創出する」	10
	「十勝の魅力を売り込む」	18
3	関係団体・機関の取り組み	26
4	フードバレーとかちの施策の進め方	32
5	参考資料	
	（1）市町村の現状	34
	（2）関係機関・団体一覧	53

1 フードバレーとかちの施策展開（戦略プラン）について

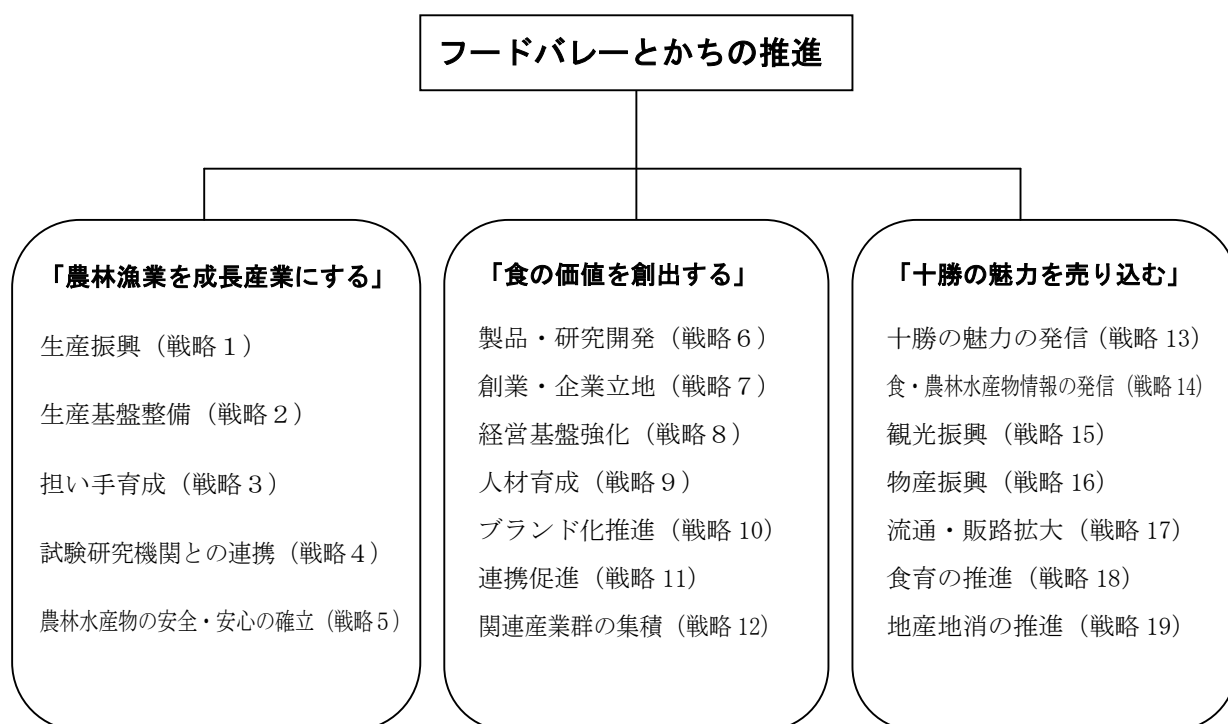
フードバレーとかちの施策展開（戦略プラン）は、フードバレーとかち推進プランの施策の柱立てに基づく施策の取り組みの方向性を示すものであり、経済状況や国等の動向などを踏まえ、十勝一体となってスクラムを組んで進めていきます。

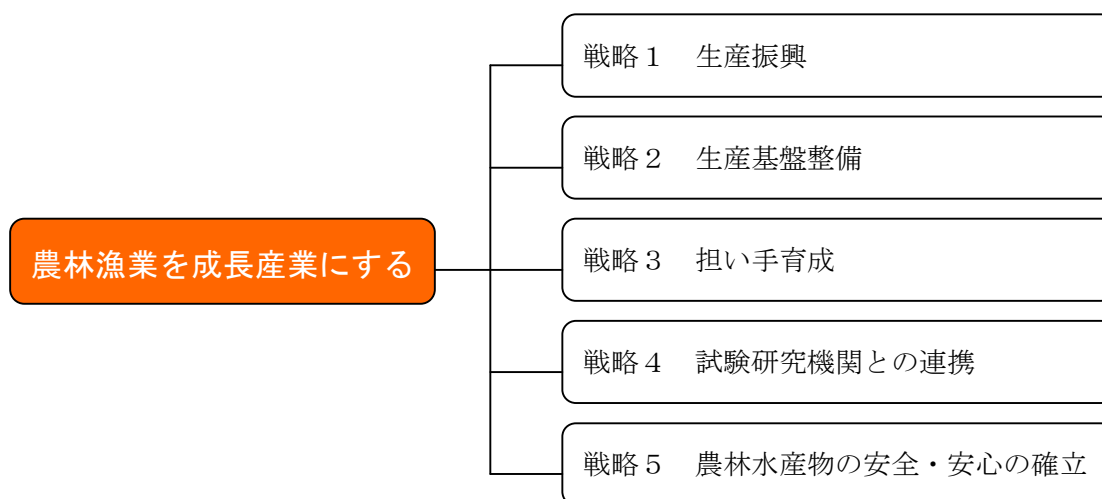
今後、この方向性に沿って、定住自立圏共生ビジョンに盛り込まれた関連事業や市町村が連携した取り組みを展開するとともに、フードバレーとかち推進協議会のプラットフォーム機能を活用し、生産者や企業などと連携しながら、域内・域外との多様な結びつきにより、「フードバレーとかち」を推進していきます。

これにより、十勝の食産業や農林漁業のさらなる発展と、食料自給率の向上などに貢献するとともに、わが国有数の食料基地としての役割や食料の生産・供給を通じて災害時のバックアップ拠点の役割を担うなど、食と農林漁業の集積拠点を目指します。

2 施策の取り組みの方向性

フードバレーとかち推進プランで示した施策の3つの柱立てに基づき、施策ごとの取り組みの方向性を示します。





戦略1 生産振興 ～食料生産力を伸ばす～

【現 状】

十勝の農業は、恵まれた土地資源を活かし、大規模で機械化された生産性の高い農業が展開されており、地域的には中央部では耕種の比率が高く、山麓部や沿海地域では酪農・畜産主体の経営になっています。十勝管内の農業協同組合はもとより、行政機関や農業改良普及センター、農業試験場等が連携しながら生産振興に取り組んでいます。

きのこや山菜などの特用林産物の生産は、生しいたけとふきを中心に行われており、特にふきについては、北海道内の約2割を占め、足寄町の「螺湾（らわん）ブキ」は全国的に知られています。

漁業では、漁獲高の約半分強をさけが占めていますが、シシャモの水揚げは広尾町が日本一になるなど、資源管理を行いながら沿岸漁業を中心とした生産が行われています。

【取組内容】

○家畜排泄物や作物残さなどのバイオマスの利活用や土づくり等を進め、農薬や化学肥料の使用を低減するなど、環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業に取り組み

ます。

○基幹的作物である小麦、てん菜、馬鈴しょ、豆類に加え、大規模畑作経営に適した新たな作目の導入や、多様化する消費者ニーズを踏まえた農畜産物の生産など、地域の実情に即した経営の多角化を進めます。

○自給飼料生産の拡大と品質向上をはかるため、草地改良や栽培・収穫・調整技術の改善を進めます。

○鳥獣による農作物被害を防止し、安定的な農業生産を行うため、市町村や関係機関と連携した鳥獣害防止対策に取り組めます。

○水産資源の確保・増大に向けた栽培漁業を促進するため、漁業関係団体と漁業組合が相互に連携し、漁業資源や漁業の特性に合わせた稚魚等の放流、漁場の育成などを進めます。

○森林の整備及び保全を進め、森林が有する多面的機能を発揮させるとともに、きのこ・山菜などの特産林産物の生産を振興します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	土壌分析・飼料分析促進事業	更別村	農業経営・生産対策推進会議負担金
帯広市	営農技術向上対策事業	更別村	鳥獣害防止総合対策事業
帯広市	飼料自給率向上対策事業	大樹町	家畜衛生対策事業
帯広市	黒毛和牛生産振興事業	大樹町	営農技術向上対策
帯広市	鳥獣害防止総合対策事業	大樹町	鳥獣害防止総合対策事業
帯広市	フードバレーとかち食・農活性化事業	広尾町	鳥獣害防止総合対策事業
帯広市	ニューフロンティア資金	幕別町	鳥獣害防止総合対策事業
帯広市	クリーン農業推進事業	幕別町	ふるさとづくり支援事業
帯広市	バイオマス利活用推進事業	幕別町	雌雄判別精液購入助成事業
帯広市	生乳生産安定対策事業	幕別町	優良和牛繁殖雌牛保留対策事業
音更町	鳥獣害防止総合対策事業	幕別町	粗飼料生産基盤向上対策事業
音更町	環境保全型農業直接支援対策事業	池田町	農業団体各種補助金
音更町	野菜苗供給事業	池田町	鳥獣害防止総合対策事業
音更町	公共育成牧場入牧牛検査助成事業	池田町	農業技術研究所運営事業
土幌町	鳥獣害防止総合対策事業	池田町	特産林産物推進事業
土幌町	農業振興事業	豊頃町	家畜衛生対策事業
上土幌町	有害鳥獣駆除対策事業	豊頃町	営農技術向上対策事業
鹿追町	畜産振興事業	豊頃町	鳥獣害防止総合対策事業
鹿追町	鳥獣害防止総合対策事業	豊頃町	簡易堆肥盤整備及び堆肥利用補助金
新得町	そば安定収量確保対策事業	本別町	環境保全型農業直接支払事業
新得町	乳成分向上対策事業	本別町	鳥獣被害防止総合対策事業
新得町	新得地鶏生産事業	本別町	農作物被害防止対策事業
新得町	鳥獣害防止総合対策事業	本別町	家畜衛生対策事業
清水町	鳥獣害防止総合対策事業	本別町	酪農ヘルパー事業
清水町	環境保全型農業直接支援対策事業	本別町	生乳生産基盤維持向上・経営安定特別対策事業
芽室町	鳥獣害防止総合対策事業	本別町	黒毛和種資質向上対策優良繁殖雌牛保留促進事業
芽室町	優良馬鈴しょ生産確保対策事業	足寄町	耕畜連携地力増進事業
芽室町	農地・水・環境保全向上対策（営農活動）事業	足寄町	鳥獣害防止総合対策事業
芽室町	環境保全型農業直接支援対策事業	陸別町	陸別町農林推進協議会事業
芽室町	農業振興センター運営事業	陸別町	鳥獣害防止総合対策事業
芽室町	堆肥製造施設運営支援事業	陸別町	有害鳥獣駆除・生息調査事業
中札内村	家畜衛生対策事業	浦幌町	鳥獣害防止総合対策
中札内村	鳥獣害防止総合対策事業	浦幌町	良質粗飼料増産対策事業
		浦幌町	優良肉用繁殖雌牛導入促進事業

戦略２ 生産基盤整備

～活力ある食生産の基盤をつくる～

【現 状】

安全で良質な農産物を安定的に生産するための基礎となる農業生産基盤整備については、国や北海道、市町村などと生産者が連携し、かんがい排水事業、明渠排水事業、農地再編整備事業、土地改良施設整備事業、治水事業等の事業が行われています。

また、漁業においては、重要港湾である十勝港や漁港の整備のほか、さけ・ますふ化施設やカレイ科マツカワの稚魚の中間育成施設など、水産基盤の整備が行われています。

【取組内容】

○安全で良質な農林水産物を低コストで安定的に生産できるようにするため、国や北海道の制度を活用しながら、長雨やかんばつ、低温などの災害に強い農地の整備などの農業農村整備や治水などの取り組みを進めます。

○関係機関や地域が連携し生産基盤の適切な維持管理を進め、生産性や収益性を確保します。

○農産物の安定的な集出荷体制等の確保をはかるため、品種特性等に対応した農産物集出荷貯蔵施設などの整備を進めます。

○沿岸資源の維持・増大と安定的な漁業生産・出荷体制の確保をはかるため、水産業の活動の拠点となる漁港や関連施設などの水産基盤等の整備を進めます。

○適正な森林施業の実施や森林保全により、健全な森林資源の維持造成や、シイタケ等の特用林産物の生産を促進します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	農地・水保全環境支払推進事業	更別村	土づくり推進事業
帯広市	農業基盤施設維持補修業務	更別村	自力草地更新助成事業
帯広市	耕地防風林整備促進事業	幕別町	農用地排水改善対策事業
音更町	農地・水保全管理支払事業	池田町	平成 21 年度冷湿害対策事業
音更町	圃場環境改善支援事業	池田町	畜産環境対策事業
音更町	小規模土地改良事業	豊頃町	緊急農地基盤整備事業補助金
音更町	耕地防風林造成事業	本別町	土づくり奨励特別事業
上士幌町	各種基盤整備事業	本別町	畜産担い手育成総合整備事業
新得町	自力草地更新対策補助	本別町	ラウンベ牧場管理運営事業
新得町	有機質還元事業	本別町	農業活性化緊急基盤整備事業
清水町	農地・水保全管理支払事業	本別町	農地・水保全管理支払交付金
芽室町	家畜衛生管理事業	浦幌町	小規模暗渠排水事業
芽室町	酪農ヘルパー支援事業	浦幌町	明渠排水溝掘削事業
芽室町	道営土地改良事業参画事業	浦幌町	良質堆肥生産奨励事業
芽室町	土地改良施設維持管理事業		

戦略 3 担い手育成 ～未来を担う生産者を育てる～

【現 状】

十勝では、帯広畜産大学をはじめ北海道立農業大学校や農業高校などの教育機関から、地域に農業の担い手となる人材が輩出されています。また、新規就農者や農林漁業の担い手を対象とした各種研修会の開催、相談業務など、行政や関係機関が連携しながら担い手の育成を進めています。

【取組内容】

- 関係機関と連携して、生産技術や経営管理手法等の研修の実施など、経営者となる担い手の育成を促進します。
- 農林漁業者、就業希望者への情報提供など、関係機関と連携をはかりながら円滑な新規就労や参入者への支援を行います。
- 農商工連携の強化をはかるため、農林漁業の担い手と商工業の担い手の連携を促進します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	農業経営体育成・強化事業	中札内村	担い手育成支援事業
帯広市	林業担い手対策事業	更別村	農業担い手育成センター負担金
音更町	農業年輪塾の実施	大樹町	担い手育成支援事業
音更町	農業後継者育成対策事業	大樹町	酪農経営支援向上対策
士幌町	農業振興人材育成事業	広尾町	担い手育成支援事業
上士幌町	農業担い手育成事業	幕別町	農業振興公社運営費補助金
上士幌町	農業後継者奨学資金等支給事業	幕別町	新規就農者支援奨励金
上士幌町	農業後継者対策推進事業	池田町	新規就農者支援育成事業
上士幌町	農業後継者海外研修助成事業	豊頃町	担い手育成支援事業
鹿追町	担い手育成支援事業	豊頃町	農業農村サポート研修施設管理事業
新得町	冬期営農講座の実施	本別町	新規参入者連携強化事業
新得町	レディースファームスクール事業	本別町	グリーンサポートセンター運営事業
新得町	新規就農者支援事業	本別町	農業振興人材育成事業
新得町	農業担い手育成確保支援事業	足寄町	中小企業勤労者福祉加入奨励補助金
清水町	清水町農業振興公社負担金	足寄町	まちづくり活動支援補助金（H23 新設）
芽室町	農業担い手育成事業	陸別町	とかち勤労者共済センター事業加入企業者助成
		浦幌町	新規就農者営農促進対策事業

戦略 4 試験研究機関との連携

～知的機関とスクラムを組む～

【現 状】

十勝では、帯広畜産大学をはじめ、北海道農業研究センターや十勝農業試験場、畜産試験場などで、農業関連の試験研究が行われています。

また、財団法人十勝圏振興機構（とかち財団）では、大学や試験研究機関と連携し、機能性食品や加工食品の開発、バイオマスの有効活用など、農林漁業を核にした農産物の付加価値向上等の取り組みが行われています。

さらに、試験研究機関の研究成果を生産・加工現場や、消費者等へ周知する取り組みが行われています。

【取組内容】

○新品種の研究や I T ・ A I 技術を活用した先駆的農業に関する研究などについて、試験研究機関をはじめとする関係機関との情報共有や、実践・普及に向けた、共同研究や連携強化をはかります。

○大学、試験研究機関などと連携し、開発中の新品種・新技術などに関する研究成果や情報を、生産者・加工業者、流通業者等の地域の関係者に迅速に提供していきます。

○試験研究機関との産学官連携による取り組みや、開発された製品等に関する情報を、地域住民をはじめとする消費者等に広く提供していきます。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

19市町村	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	新得町	新得地鶏生産事業
帯広市	先進的農業促進事業	更別村	更別村農業経営・生産対策推進会議負担金
帯広市	技術活用促進事業	豊頃町	河川泥炭土農地投入試験
鹿追町	営農技術向上対策	本別町	営農指導対策協議会負担金

戦略5 農林水産物の安全・安心の確立

～食の安全安心を確保する～

【現 状】

BSEの発生、輸入食品の残留農薬や食品の偽装表示などの問題を契機として、消費者の食の安全性に対する関心が高まっています。

十勝においては、生産者等による生産履歴記帳運動や自主的な土壌診断、農産物残留農薬検査システムなど、食の安全性に関する体制整備が進められています。

行政機関においても、関係機関と連携して、クリーン農業技術の普及・拡大や、関係機関と連携した農薬等の適正使用の周知など、食の安全・安心に対する取り組みを進めています。

【取組内容】

○土壌診断による適正な施肥設計や耕畜連携による有機質資材の活用促進等、農薬と化学肥料の削減につながる取り組みなどを通じてクリーン農業を促進します。

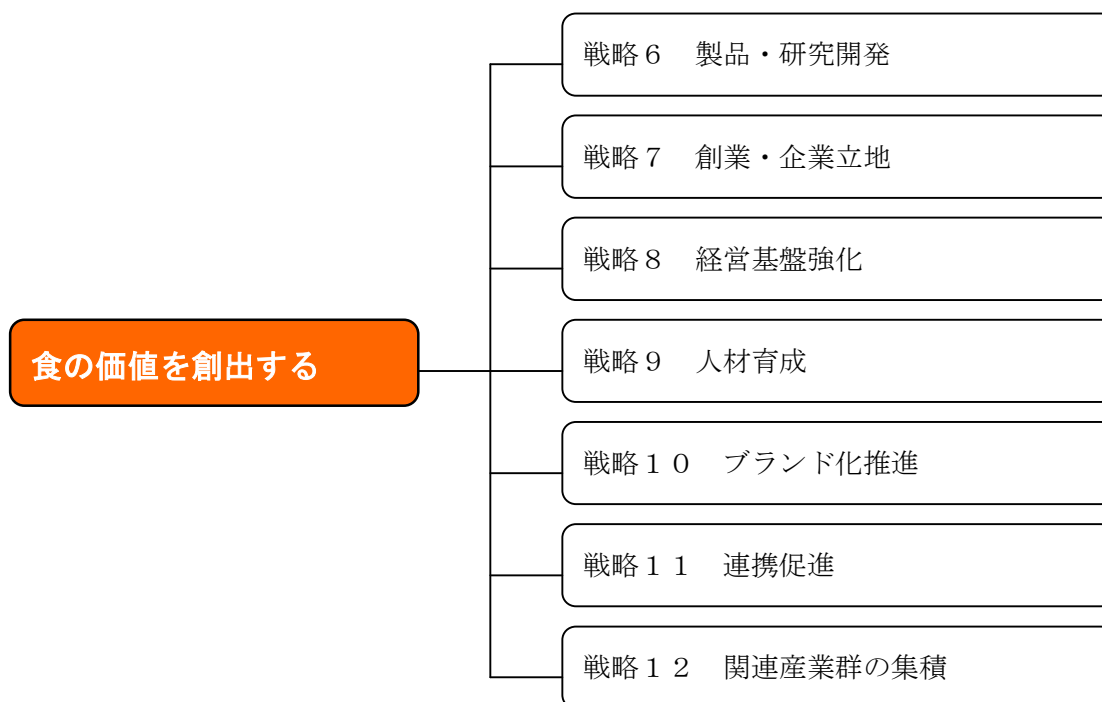
○農林水産省のエコファーマー認定制度や北海道独自の北のクリーン農産物表示制度等の認定や登録などを促進します。

○関係機関と連携した家畜伝染病防疫対策や畜舎環境への配慮など、家畜衛生管理の充実・強化を進めます。

○生産段階でのGAPやHACCP等の手法を導入した管理の促進や、流通段階でのトレーサビリティ確保の促進などにより、食の安全・安心の確保をはかります。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】

帯広市	十勝型生産技術基盤形成事業	清水町	清水営農対策協議会負担金
帯広市	クリーン農業推進事業（再掲）	清水町	食の安全安心推進事業
帯広市	家畜衛生対策事業	清水町	畑作総合対策事業
音更町	消費・安全対策事業	清水町	土壌分析・飼料分析促進事業
音更町	家畜防疫対策推進事業	芽室町	食の安全・安心確保対策支援事業
鹿追町	家畜伝染病自衛防疫事業	幕別町	家畜伝染病自衛防疫組合事業
新得町	家畜伝染病自衛防疫組合事業	池田町	農業廃棄物処理事業
新得町	家畜伝染病等予防推進事業	豊頃町	元気な土づくり対策事業
新得町	農家住宅等周辺環境整備舗装化事業	本別町	農業用廃プラスチック適正処理推進協議会補助金
新得町	農業廃棄物処理対策事業	本別町	家畜自衛防疫対策事業
清水町	畑作総合振興事業	足寄町	（仮称）地域交流物産館整備事業
清水町	土壌分析・飼料分析促進事業	足寄町	耕畜連携地力増進事業
		陸別町	陸別町家畜伝染病自衛防疫組合事業



戦略6 製品・研究開発 ～とかちの食の価値を探り出す～

【現 状】

帯広畜産大学には、産学官連携の拠点として地域連携推進センターが設置され、企業・試験研究機関・行政機関等が連携しながら、研究開発に係わる技術相談、新技術や製品開発支援、人材の育成などを行っています。

北海道立十勝圏地域食品加工技術センターでは、地域のニーズに対応した食品加工に関する試験研究・試験分析・技術支援などの取り組みを進めています。

また、自治体や民間企業においても、研究所等が設置されており、農林水産物に関する研究・開発が行われています。

【取組内容】

○試験研究機関等の研究成果や地域の特性や資源などを利活用した、新製品・新技術

等の開発を支援します。

○研究開発などの機能を持つ、(仮称)食・農・医連携センターを整備します。

○フードバレーとかち推進協議会のプラットフォーム機能を活かした相談活動や企業間の連携機会の提供などにより、新たな製品の開発や技術開発などを促進します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	産学官連携促進費	新得町	農商工連携事業補助
帯広市	企業間マッチング・フォローアップ事業	清水町	清水町産業クラスター研究会助成金
帯広市	ものづくり総合支援事業	清水町	清水町新キャラクター制作実行委員会補助金
音更町	産業研究開発支援補助	芽室町	地場産業支援センター参画事業
士幌町	商工業活性化推進事業助成金	芽室町	町観光・特産品普及事業（産業振興活動助成金）
上士幌町	農林商工等連携促進事業	幕別町	特産品研究開発事業補助金
上士幌町	農林商工連携によるビジネス創出事業	本別町	農産物加工施設整備事業
		本別町	農産物加工施設運営管理事業

戦略 7 創業・企業立地 ～とかちの価値を活かして起業する～

【現 状】

十勝においては、帯広十勝地域産業活性化協議会やとかち田園地域産業活性化協議会が設立され、両協議会には、19市町村が参加しており、相互に連携しながら企業立地を推進しています。また、各市町村においても、工業団地整備や企業誘致などに取り組んでいます。

十勝管内の金融機関をはじめ、市町村や中小企業支援機関、商工団体などが、企業の創業・起業などに対する支援を行っています。

【取組内容】

○金融機関や中小企業支援機関、関係団体、行政機関などが連携し、創業や起業に関

- する支援情報提供やアドバイスなど、創業・起業家に対する支援に取り組みます。
- 起業家の育成を目的とした創業・起業セミナーの開催など、創業・起業環境の整備に取り組みます。
- 地域が一体となって、首都圏等における企業誘致に向けたPR活動を行います。
- 産地立地型企业などの誘致や地場企業の規模拡大などに向けた取り組みを進めます。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】

7市町村	帯広十勝地域産業活性化協議会負担金	新得町	商工業活性化事業補助金
12町村	とかち田園地域産業活性化協議会負担金	新得町	地域振興事業補助
帯広市	食産業立地促進事業	清水町	企業立地促進助成
音更町	事業所立地奨励補助	芽室町	企業誘致促進対策事業
音更町	工業団地土地購入資金利子補給	幕別町	企業開発促進補助金
音更町	音更町IC工業団地貸付特約分譲補助	池田町	ふるさと元気事業
音更町	雇用増に伴う助成金	本別町	企業誘致奨励事業
上士幌町	企業振興促進補助金	豊頃町	産業振興事業補助金

戦略8 経営基盤強化 ～とかちの企業力を高める～

【現 状】

十勝管内の金融機関では、金融業務のほか企業等の経営基盤を強化するため、経営塾やセミナーなどを行っています。また、中小企業で組織する団体や商工団体等が、経営力向上のための講習や経営基盤強化のためのセミナーの開催、専門家派遣などの支援を行っています。

帯広畜産大学地域連携推進センターが、地場企業等の技術相談などの拠点となっているほか、中小企業基盤整備機構北海道支部や北海道中小企業総合支援センターなどの支所や相談窓口が設置されるなど、企業に対する支援が充実してきています。

【取組内容】

- 関係団体・機関や市町村のネットワークを強化し、専門家による経営アドバイスや融資制度など、各種支援制度等の情報を広く企業等に提供するとともに、事業承継や事業再生の取り組みを支援します。
- 生産者や企業等の資金繰りの円滑化に資する制度の充実や周知を進めます。
- 農商工・産学官連携の取り組みを活用しながら、企業等の新分野進出支援や経営多角化などを支援します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	中小企業振興融資事業	芽室町	町中小企業融資事業
帯広市	保証料補給事業	大樹町	中小企業融資利子補給・保証料補助
帯広市	経営相談事業	広尾町	中小企業融資利子補給等事業
音更町	音更町商工会補助	幕別町	中小企業融資・利子補給・保証料補給
音更町	商工業振興資金利子補給	池田町	中小企業融資、同利子補給制度
上士幌町	中小企業融資	豊頃町	中小企業融資制度
上士幌町	中小企業融資利子補給	豊頃町	中小企業融資制度利子補助
新得町	中小企業融資	本別町	中小企業融資利子補給及び保証料
新得町	中小企業融資利子補給	足寄町	中小企業特別融資制度・保証料補助
		浦幌町	中小企業融資利子補給

戦略 9 人材育成 ～とかちの食の価値を活かす人を育てる～

【現 状】

帯広畜産大学や農商工団体、中小企業支援機関、金融機関、行政機関などにおいて、人材育成や異業種交流などの取り組みが行われています。

また、中小企業支援団体が、行政機関と連携しながら、人材や企業等のマッチングの取り組みなどを行っているほか、関係団体・機関などが連携して、人材育成に関する情報交換や情報の一元化をはかっています。

【取組内容】

- 地域産業活性化を担う人材のスキルアップの促進や、異業種交流、創業・起業、経営多角化などを目指す人材の育成をはかります。また、地域独自の技術の把握に努め、技術継承に対する支援を行います。
- 人材マッチングシステムの充実による多様な就業機会の提供、職業体験機会の提供などによる求職者の企業への就職促進や求人・求職のミスマッチ解消を進めます。
- 地場産品を活用した製品開発技術向上の専門的な講習のほか、企業や個人事業者の出会いの場を提供し、相互交流による製品開発や販路拡大に関するスキルの向上などを促進します。
- 実践的な講習や国内外研修を行うなど、農商工連携や6次産業化に資する人材の育成に取り組みます。
- 農商工団体や市町村、大学をはじめ専門高等学校や専門学校、技術技能育成機関などによる、実践的な研修機会の提供や、企業経営力や生産性向上などに貢献する高度な技能を有する人材の育成・確保をはかります。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業
帯広市	人材育成事業
帯広市	雇用拡大・機会確保促進事業
帯広市	人材育成・確保事業
清水町	ハーモニープラザ担い手交流センター借上料
本別町	農産物ブランドづくり推進事業

戦略 10 ブランド化推進 ～とかちのブランド力を活かす～

【現 状】

十勝においては、地域団体商標に長いもやだいこんなどが登録されるなど、生産物のブランド化の取り組みが行われています。

また、とかち財団では十勝ブランド認証機構を組織し、パン、ナチュラルチーズ、お菓子の3つの分野でブランド化に取り組むなど、地域で生産される農畜産物や食品のブランド化を進めています。

【取組内容】

○十勝ブランド認証機構の取り組みを支援するとともに、地場製品のブランド化を進めます。

○特許や実用新案、地域団体商標の登録など、企業や団体等の知的財産活動を支援します。

○大学や試験研究機関、民間の研究所等が持つ特許などの知的財産の活用を促進します。また、地域ブランドに関する国や北海道などの取り組みについて、生産者や関係団体・企業等、消費者などとの情報共有や情報収集を進めます。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	財団法人十勝圏振興機構負担金（十勝ブランド認証機構）	新得町	新そば祭り事業
帯広市	とかちブランド育成事業	芽室町	町観光・特産品普及事業
帯広市	知的財産活用促進事業	大樹町	地場産業振興奨励事業
音更町	特産品研究開発補助	広尾町	おいしい町づくりの会支援事業
上士幌町	十勝ナイタイ和牛ブランド化肥育促進事業	池田町	「いけだ牛」の取り組み
上士幌町	農林商工等連携促進事業	本別町	ブランド化推進事業
上士幌町	農林商工連携によるビジネス創出事業	本別町	キレイマメ原料生産確保事業
		足寄町	商工振興対策事業補助金

戦略 1 1 連携促進

～プレイヤーの結びつきを深める～

【現 状】

帯広畜産大学地域連携推進センターでは、企業との共同研究などが行われています。また、大学や十勝管内の試験研究機関の6研究機関が、食の安全と安心、生産や衛生に関する人材育成に連携・協力して取り組むスクラム十勝を設置し、試験研究機関の相互連携をはかっています。

十勝地域では、産学官・農商工連携等を促進するため、とかち財団や十勝管内の農林漁業団体で組織するとかち産業団体協議会などが組織されているほか、とかち財団を中心に大学や試験研究機関、自治体などが連携して、国の産学官連携研究支援制度を活用した農産物の機能性などの研究開発が行われています。

【取組内容】

- 大学や試験研究機関等の一層の連携強化をはかるとともに、試験研究成果の活用に向け関係団体・企業等との連携を促進します。
- 農商工連携を促進するため、生産者と関係団体・企業等との出会う機会を提供します。
- 6次産業化のための異業種交流や、同業種の連携による製品開発や技術交流など、地域内外の関係団体・企業間の連携を促進する機会を提供します。
- 関係自治体と連携して、食に関連する取り組みや交流を促進します。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】

帯広市	オール十勝でのプラットフォーム構築（フードバレーとかち推進協議会）
帯広市	技術活用促進事業
帯広市	ベーカリーキャンプ2011の開催
帯広市	6次産業化促進事業
帯広市	産学官連携促進事業
帯広市	国際戦略総合特区の取り組み
帯広市	富士宮市との交流事業
音更町	産業研究開発支援事業
上士幌町	農林商工等連携促進事業
上士幌町	農林商工連携によるビジネス創出事業

戦略 1 2 関連産業群の集積

～とかちの価値を活かす産業を集積する～

【現 状】

十勝には、食品加工などの食関連企業や農業機械などの農業関連企業が数多く立地しています。

また、規格外小麦などを活用したバイオエタノールの生産や廃食用油を活用したBDFの生産、食品残さを活用したエコフィードの生産、畜産廃棄物を利用したバイオガスプラントの整備など、豊富なバイオマス資源を活用した取り組みが行われています。

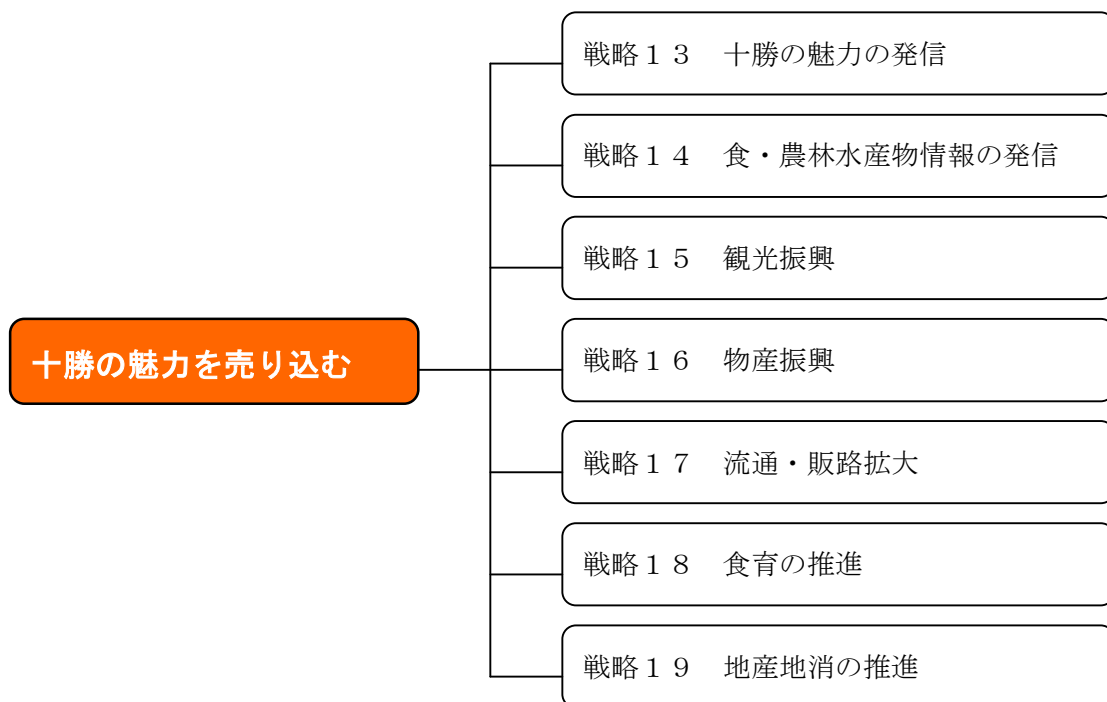
【取組内容】

- 地域特性や優位性を活かした産業集積に向け、食と農林漁業を中心とする地域資源関連産業や機械・金属関連産業、環境・リサイクル関連産業などの企業立地に対する支援を行います。
- 豊富なバイオマス資源や寒冷な気候などを活用した、持続可能で環境に優しい自然エネルギーに関する研究開発や産業化支援の取り組みを進めます。
- 新しい技術を活用した植物工場などの食関連施設の立地を促進します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

7 市町村 帯広十勝地域産業活性化協議会負担金

1 2 町村 とかち田園地域産業活性化協議会負担金



戦略 1 3 十勝の魅力の発信 ～とかちの価値を発信する～

【現 状】

北海道は、雄大な自然を背景とした景勝地や農林漁業に支えられた豊かな食などの観光資源を持ち、国内外から注目されている地域です。

十勝においても、国内外のプロモーション活動やインターネットなどの各種メディアを利用して、十勝の魅力ある自然環境や安全で豊かな食などの情報を提供しています。

【取組内容】

- インターネットなど各種メディアを有効活用し、国内外に十勝の魅力を発信します。
- 国内や東アジアを中心とした海外へのプロモーション活動を行い、十勝への観光客の誘致等をはかります。
- 海外のメディアを招聘し、十勝の情報を発信します。

○十勝管内で開催される祭りやイベント情報を一体的に発信し、十勝の交流人口の増加をはかります。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	馬文化承継事業	清水町	十勝清水四景＋１（プラス ワン）マップ作成
帯広市	フードバレーとかちの情報発信	芽室町	町観光・特産品普及事業
帯広市	中国観光プロモーション事業	芽室町	町観光物産協会運営支援事業
音更町	観光協会補助	芽室町	発祥の地杯全国ゲートボール大会開催支援事業
音更町	グリーンツーリズム事業	大樹町	観光協会補助
音更町	北十勝４町広域観光振興事業	広尾町	観光推進団体支援事業
音更町	首都圏子供イベント参加交流事業	池田町	十勝ワイン醸造事業
上士幌町	北十勝４町広域観光振興事業	本別町	観光情報センター運営事業
上士幌町	上士幌町・ぬかびら源泉郷魅力発信キャンペーン事業	足寄町	観光推進団体支援事業
上士幌町	観光案内所運営事業	陸別町	とかち田園地域産業活性化協議会負担金
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業		

戦略 14 食・農林水産物情報の発信 ～とかちの食を広める～

【現 状】

道の駅や産直市場が設置され、新鮮な農林水産物などが販売されているほか、農畜産物や水産物、加工品、グルメなどの情報を各種パンフレットや雑誌、ホームページなど各種メディアを通じて提供しています。

また、海外や首都圏等で開催されるビジネスマッチングを活用し、生産物や加工食品などの情報提供を行っています。

【取組内容】

○地域で開催される食関連のイベントと連携し、農畜産物や水産物などに関する情報を提供します。

○ホームページやタウン誌など様々なメディアを活用し、フードバレーとかちの取り組みや食や農林漁業に関する情報を発信します。

○ビジネスマッチングの開催により、商品情報の提供や販路拡大を行います。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	フードバレーとかち講演会の開催
帯広市	フードバレーとかち食彩祭 2011
音更町	物産協会補助
士幌町	観光案内所運営事業
上士幌町	十勝ナイタイ和牛&ミルクフェア（魅力発信キャンペーン事業）
上士幌町	観光案内所運営事業
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業
新得町	しんとく新そばのタペの開催
芽室町	町観光・特産品普及事業（再掲）
芽室町	町観光物産協会運営支援事業（再掲）
更別村	さらべつふるさとまつり実行委員会運営事業
大樹町	観光協会補助
足寄町	観光推進団体支援事業
浦幌町	うらほろふるさとのみのり祭り開催

戦略 15 観光振興 ～とかちに人を呼び込む～

【現 状】

十勝は、大雪山国立公園や阿寒国立公園、日高山脈襟裳国定公園などの豊かな自然に恵まれ、また、十勝川温泉や糠平温泉をはじめとする温泉施設や観光施設のほか、スキーやスケートなどのウインタースポーツ施設が整備され、年間約 900 万人の観光客が訪れています。

【取組内容】

○雄大な十勝の自然や地場食材を活用したメニューを提供する飲食店などの食関連情報を発信し、地域の食材を活かした観光振興に取り組みます。

○農林漁業の体験や食品加工場の視察等など、産業と観光が結びついた産業観光を促進します。

○観光案内所や鉄道駅、空港、道の駅などの施設を活用して、十勝の観光情報を提供します。

○十勝管内の広域観光や滞在型・体験型観光を促進します。

○コンベンションの誘致をはじめ、観光関連団体と連携して、イベントや十勝観光のPRなどを行います。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】

19市町村	十勝観光連盟事業	芽室町	町観光物産協会運営支援事業（再掲）
帯広市	観光案内所運営事業	中札内村	観光推進団体支援事業
帯広市	観光推進団体支援事業	更別村	観光推進団体支援事業
音更町	観光協会補助	大樹町	観光協会補助
音更町	北十勝4町広域観光振興事業	広尾町	観光推進団体支援事業
上士幌町	ひがし大雪むし・むしWEEK事業	幕別町	観光推進団体支援事業
上士幌町	上士幌町ナイタイ高原マウンテンサイクリング	池田町	観光ルート企画・観光プロモーション運営委託事業
上士幌町	ぬかびら源泉郷紅葉まつり	池田町	観光推進団体支援事業
上士幌町	観光案内所運営事業	池田町	「ワイン城」運営事業
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業	豊頃町	観光推進団体支援事業
鹿追町	鹿追町観光協会特産品部会活動	本別町	観光団体支援事業
鹿追町	観光案内所運営事業	本別町	十勝広域観光番組制作委員会
鹿追町	観光推進団体支援事業	本別町	観光交流事業
新得町	観光案内所運営事業	足寄町	観光推進団体支援事業
新得町	観光推進団体支援事業	足寄町	（仮称）地域交流物産館整備事業
清水町	観光推進団体支援事業	陸別町	観光推進団体支援事業
清水町	十勝清水四景＋1（ガラスワ）観光案内板設置	陸別町	観光交流事業
芽室町	町観光・特産品普及事業（再掲）	浦幌町	観光推進団体支援事業

戦略16 物産振興

～とかちのモノを売り込む～

【現 状】

十勝の物産は、各市町村の商業店舗や農産物直売所で販売されているのをはじめ、各企業等がインターネットなどでの販売を行っています。また、鉄道駅や空港、道の駅などでは、十勝のおみやげとして様々な商品が販売されています。

このほか、関係団体による物産展やイベントにおいて十勝の物産販売が行われています。

【取組内容】

- 十勝の物産を消費者に周知するため、物産展やイベントの開催などにより、地域内の農林水産物や加工品等のPRを行います。
- 企業等への情報提供や関係機関と連携した商談会の開催、展示会等への出展支援などを通して、物産振興をはかります。
- 十勝物産展の開催などにより、十勝の良質な農林水産物や加工品の販売を促進します。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】

帯広市	アンテナショップ運営事業	芽室町	町観光物産協会運営支援事業（再掲）
帯広市	物産販路拡大推進事業	更別村	どんぐり推進部会助成金
音更町	特産センター運営補助	大樹町	地場産品研究センター事業
上士幌町	観光案内所運営事業	幕別町	さっぽろオータムフェスト出展事業
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業	本別町	観光推進（物産）団体支援事業
新得町	地場産品PR事業	本別町	こまつしま・うまいもん祭り出展
新得町	地場産品奨励対策事業	足寄町	（仮称）地域交流物産館整備事業
清水町	「十勝清水四景＋1」ﾌｨﾙﾑ発表並びに町特産PRｷｬﾗﾝﾞﾝ	足寄町	観光推進団体支援事業
芽室町	町観光・特産品普及事業（再掲）	足寄町	さっぽろオータムフェスト出店事業

戦略17 流通・販路拡大 ～とちの食を国内外に広める～

【現 状】

十勝で生産されている農林水産物は、生鮮食品や加工原料として管外に移出されています。海外にも、長いもやえだまめが輸出されているほか、農業機械等も中国などに輸出されています。また、全国で開催されている物産展では、良質な原料から作られるスイーツなどの十勝の食品が好評を得ています。

また、高規格幹線道路などの道路や、空港、港湾などの整備が進められ、平成23年3月にとち帯広空港の東京便ダブルトラッキング化が実現し、10月には北海道

横断自動車道が札幌圏まで開通するなど、十勝圏域と他地域間のアクセス向上がはかられてきています。また、重要港湾である十勝港は、農業王国十勝を支える港として重要な役割を担っています。

【取組内容】

- 首都圏等のバイヤーとの商談機会などを通じて、関係機関や団体と連携し、商品の販路開拓を行います。
- 展示会や物産展、ビジネスマッチング等への出展を支援し、市場開拓や販路拡大を促進します。
- 十勝の農林水産物や食品などの輸出拡大に取り組みます。
- 十勝管内はもとより、他の地域との安全で円滑な人やモノの交流を確保するため、道路をはじめとする流通網の整備を進めます。
- 十勝港の整備をはじめ、小型漁船の操業効率化や安全確保などのため港の整備を進めます。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	とかちまるごとPR事業
帯広市	十勝産小麦を使った商品を中心とした地域ブランド販路拡大支援
帯広市	東アジア展開事業
帯広市	市場開拓・販路拡大事業
音更町	さっぽろオータムフェスト出店事業
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業
上士幌町	農林商工等連携促進事業
上士幌町	農林商工連携によるビジネス創出事業
清水町	「十勝清水牛玉ステーキ丼」販売1周年記念イベント
芽室町	町観光・特産品普及事業（再掲）
芽室町	町観光物産協会運営支援事業（再掲）
大樹町	観光協会補助
本別町	ブランド化推進事業
足寄町	さっぽろオータムフェスト出店事業
足寄町	観光推進団体支援事業

戦略 18 食育の推進 ～とかちの食生活・文化を育む～

【現 状】

食を通して健康で豊かな生活を送るため、食に関する知識や食を選択する判断力を身につける「食育」の取り組みが、管内市町村で進められています。

【取組内容】

○地元の食材を使った健康で豊かな食生活の実践や、食の安全・安心に対する理解を促進します。

○地域の農林水産業や食産業、食文化に対する理解を深めるなど、食育に関する取り組みを進めます。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	食育推進事業
帯広市	学校給食食育推進事業
音更町	地場産品消費拡大推進事業
新得町	新得オリジナルメニュー提供事業
中札内村	学校給食食育推進事業
大樹町	消費者協会補助
幕別町	学校給食における地場産食材活用事業
池田町	食育事業
本別町	牛乳消費拡大推進委員会
豊頃町	ふるさと給食材料推進事業
浦幌町	食育セミナー開催事業

戦略 19 地産地消の推進 ～とかちでつくり、とかちで食べる～

【現 状】

十勝管内の市町村では、産直市場や朝市などが設けられ、地域で生産された農林水産物や地元で加工された商品などを地域で消費する、地産地消を進めています。

【取組内容】

- 消費者が地域の地産地消に関する情報を入手しやすい環境づくりを進めます。
- 地域で開催される食に関するイベントとの連携などによる地産地消を推進します。
- 学校給食や家庭などにおける地産地消の取り組みを、十勝で連携して進めます。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	地産地消促進・安全安心対策事業	芽室町	地産地消協働推進事業
音更町	調理加工講座	中札内村	地産地消推奨事業
音更町	おとふけオータムフェス 2011 事業	中札内村	豆資料館企画事業
士幌町	しほろ収穫祭事業	更別村	農業経営・生産対策推進会議助成金
士幌町	青空市開催事業	大樹町	観光協会補助
士幌町	牛乳消費拡大事業	広尾町	十勝港まつり、毛がにまつり支援事業
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業	幕別町	和牛消費拡大実行委員会補助
鹿追町	ふるさと産業まつり事業	池田町	池産池消（ちさんちしょう）事業
鹿追町	鹿追そばまつり事業	豊頃町	牛乳消費拡大推進事業
鹿追町	農畜産物加工施設管理運営事業	豊頃町	なたね油消費拡大推進事業
新得町	新そば祭り事業	本別町	農産物加工施設整備事業
清水町	牛乳消費拡大事業	本別町	農産物加工施設運営管理事業
清水町	まるごとしみず食の祭典の開催	本別町	牛乳消費拡大推進委員会
清水町	ふれあいテーブル&食の安全安心講演会の開催	浦幌町	うらほろ物産フェア事業

3 関係団体・機関の取り組み

農林漁業団体

●十勝地区農業協同組合長会

十勝地区農業協同組合長会は、「J Aネットワーク十勝」を設置し、十勝農業協同組合連合会と連携しながら、生産履歴やG A P、残留農薬検査や生乳抗生物質迅速検査など農畜産物の安全安心の取り組み、バルク乳温遠隔監視システムによる品質管理、飼料土壌分析の活用、施設の共同利用などによるコスト削減、酪農広域フィールドアドバイザーや和牛育成技術の統一マニュアルなどによる生産性と品質の向上、十勝和牛の商標登録によるブランド化など、組合員の営農と生活の向上を支援する広域的な共同事業に取り組んでいます。

●十勝地区森林組合振興会・十勝管内漁業協同組合長会

十勝地区森林組合振興会や十勝管内漁業協同組合長会は、「オールとがち魅力発信連絡協議会」や「とがち産業団体協議会」などに参加し、「食と農林漁業」を活かした産業の活性化に取り組んでいます。

商工業団体

●帯広商工会議所

帯広商工会議所は、地域の総合経済団体として「連携と共生」を活動方針に掲げ、十勝管内経済団体や他の産業団体と「とがち産業団体協議会」を設立して連携強化をはかり、農商工連携を促進しています。また、オール十勝で「M y とがち推進運動」を展開し、十勝産商品の消費拡大、販売促進を進めています。

●北海道中小企業家同友会とがち支部

北海道中小企業家同友会とがち支部は、十勝管内約780社の中小企業や農業者などが加入する組織で、組織内に農業者や農業関連企業が参加する「農業経営部会」や農商工連携による新産業創出を目指す「十勝農商工連携部会」を設置するなど、農業

や農商工連携の推進に取り組んでいます。

特に農商工連携分野では、農業者や商工業者、関係機関職員などを対象とした農商工連携人材育成セミナーの開催や、帯広物産協会と連携し首都圏や中京圏と十勝の食品関連企業等のビジネスマッチングや展示商談会、さらに帯広市と連携した十勝の魅力ある食を海外へ売り込むための海外販路開拓事業などにも精力的に取り組んでいます。

また、地域の高校生の就職支援などを目的とした高校生職場体験事業（Let's ジョブちゃれ）や、高校生向け就職セミナーなどを帯広市と連携して行っています。さらに帯広地域雇用創出促進協議会の事務局として、求職者や中小企業に勤める人たちを対象とした人材育成や、求職者の地元企業への就職支援として人材マッチング事業の「ジョブジョブとかち」や合同企業説明会の開催にも取り組んでおり、雇用創出実績などが全国的に高く評価されています。

●北海道中小企業団体中央会十勝支部

北海道中小企業団体中央会十勝支部は、管内の中小企業者で組織する事業協同組合をはじめとした、各種中小企業組合の百数十組合を会員として、各種セミナー、調査事業、情報提供事業のほか、専門家による個別相談、下請対策、官公需対策等に取り組んでいます。また、会員の中小企業組合を軸に、そこに参画されている各企業に対しても、地域における相乗効果を目指したオール十勝の活動について普及啓発を行い、関係団体との更なる連携強化に取り組んでいます。

●十勝管内商工会連合会

十勝管内商工会連合会は、管内 18 町村にある商工会によって組織されており、連携して各種事業に取り組むと共に、各商工会が取り組んでいる地域振興事業の支援を行っています。また、十勝管内商工会青年部連合会と十勝管内商工会女性部連合会では、地域性のある優れた「食」「イベント」「観光」について「夢 Land とかち」ブランド認証を実施し、十勝管内各町村の魅力発信に取り組んでいます。

●十勝観光連盟・帯広物産協会

十勝観光連盟や帯広物産協会は、オール十勝の体制で観光や物産振興に取り組んで

おり、道央圏と十勝圏を結ぶ北海道横断自動車道の開通や、とち帯広空港のダブルトラッキング化などを契機に、十勝の魅力発信活動を強化しています。

金融機関

●帯広銀行協会・日本政策金融公庫

帯広銀行協会は、帯広市内の銀行で構成する団体であり、また、日本政策金融公庫帯広支店は、平成20年にそれまでの農林漁業金融公庫と国民金融公庫などが合併して設立された金融機関です。いずれも地域の企業等に対して、融資のみならず、ビジネスマッチングや販路拡大等に取り組んでいます。

●帯広信用金庫

帯広信用金庫では、十勝の食産業や農林漁業等の振興をはかるため、金融取引以外にも、「フードビジネスサポートネットワーク会議」における各支援機関と連携した情報提供、大学との共同研究や産学官・農商工連携を活かした新製品・技術開発支援、国内外の販路拡大のためのビジネスマッチングや商談等の機会の創出、専門家による商品開発や販路拡大等の個別相談、「おびしんふれあい相談室」における創業支援・経営相談、「おびしん地域経営塾」の運営による経営者の育成など、幅広い支援を行っています。

大学・試験研究機関

●帯広畜産大学

帯広畜産大学は、「食の安全確保」を理念・目標に、獣医・農畜産学に関連する先端基礎研究及び開発研究の成果を実践する場として、研究成果を活かし、世界に通用する環境にやさしい持続可能な農業の確立に貢献しています。

国際貢献・地域貢献活動では、発展途上国のJICA研究者や技術者等受け入れのほか、教員をJICA専門家として世界各国に派遣しています。国際的な大学間学術交流協定を、カナダのアルバータ大学やドイツのミュンヘン大学など19大学と締結しているほか、部局間学術交流協定も行っています。このほか、平成17年に帯広市

と包括的連携協力協定を締結したのをはじめ、平成１７年に帯広農業高等学校、平成２２年に更別農業高等学校との連携協定、平成１８年に帯広信用金庫及び北洋銀行と産学連携協力協定などを締結し、地域連携にも積極的に取り組んでいます。

平成８年度に設立された地域共同研究センター等を再編統合して設置された地域連携推進センターは、地域に開かれた大学の窓口として、民間企業や他の研究機関等の技術相談などを受け入れ、受託研究や共同研究の総合的なコーディネートを行う産学官連携事業、公開講座などの社会貢献事業、リエゾン機能を発揮する活動などを行っています。また、平成１９年度からは帯広市と連携して、市が作成した「地域再生計画」に基づき、文部科学省の採択を受け、「地域再生人材創出拠点の形成プログラム・十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業」による社会人教育も行っています。

●財団法人十勝圏振興機構

財団法人十勝圏振興機構（とかち財団）は、十勝圏域の農業を核とした地域産業の振興を支援することにより、地域産業の高度化・複合化を促進し、活力ある地域社会の形成に資することを目的として平成５年８月に設立されました。

製品開発支援や技術支援等を中心に、十勝地域の企業等に対して総合的な産業支援活動を行っている団体です。いままでの活動の中から、商品化に繋がった事例は数多く、現在も開発中の案件が多数あります。

こうした地域産業振興の一つとして、とかち財団が中核機関となり、帯広畜産大学、北海道農業研究センターなどの試験研究機関や企業等と連携して取り組んでいる文部科学省補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム事業（都市エリア型）」では、「農畜産物及び加工副産物からの新規機能性素材の開発」と「農畜産物及び加工品の安全性確保」をテーマに研究が進められています。

また、とかち財団が運営する十勝産業振興センターでは、十勝の機械製造業者とともに、農作物の不良品等を選別するための新型選別機械や野菜加工機械等の製造開発を行っています。

●北海道農業研究センター

芽室町に立地する北海道農業研究センター（芽室研究拠点）は、農研機構が 2011 年 4 月 1 日より第三期中期目標期間として新たな 5 年間の研究開発をスタートさせたのに伴い畑作研究領域が設置されました。これまで実施してきた大規模畑作の研究と小麦や甜菜などの畑作物育種を継続するとともに、「業務用野菜の導入を核とした大規模畑輪作生産システムの確立」、「IT 等の利用による精密・低コスト大規模農業のための基盤技術開発及び体系化」および「周年安定供給が可能な高品質のバレイショ品種およびその管理技術の開発」に関して、課題責任者を配置して体制を強化しました。食料の安定供給と安全確保、農村環境や国土資源の保全などを支える技術開発を目指し、研究が行われています。

●家畜改良センター十勝牧場

音更町に立地する家畜改良センター十勝牧場では、肉用牛の育種改良、乳用牛優良種雄牛の育成・供給、農用馬の改良、稀少在来馬の保存、めん羊の繁殖技術の開発、飼料作物種子の増殖などの業務が行われています。

●十勝農業試験場・畜産試験場

芽室町に立地する十勝農業試験場と、新得町に立地する畜産試験場は、機構改革により平成 22 年 4 月から地方独立行政法人北海道立総合研究機構へ改組されました。十勝農業試験場では大豆、小豆、菜豆の品種改良を実施するほか、十勝地方の耕種部門に関する、作物栽培、病虫害、土壌肥料、経営、農業機械を網羅した試験研究や、地域の農業改良普及センターと協力し技術普及と地域課題の解決支援に取り組んでいます。

畜産試験場では肉牛、豚、地鶏等の育種改良や種畜供給、飼養管理技術のほか、家畜の疾病予防、受精卵移植、牧草や飼料作物栽培、ふん尿処理等の研究に取り組むとともに、地域の農業改良普及センターと協力し現地の問題解決を支援しています。

2005 年に設置された「スクラム十勝」は、十勝に立地している帯広畜産大学、農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター、北海道立総合研究機構畜

産試験場、同十勝農業試験場、北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、家畜改良センター十勝牧場の公設6研究機関が、包括的な連携協力を行いながら、我が国の動植物性食品生産の中核である十勝地域が抱える食の安全と安心、生産と衛生に関する課題解決並びに課題解決に資する高度な人材を育成する活動を行っています。

行政機関

●帯広開発建設部

帯広開発建設部は、北海道開発局の現地機関として、十勝管内における治水、道路、港湾整備、農業農村整備、水産基盤整備などの社会基盤整備を実施しており、これらの事業を通じて十勝地域の農林漁業の生産基盤の強化や流通・販路拡大のバックアップに努めています。また、自治体や地域づくり団体等が実施する、わが村は美しくー北海道運動、東十勝ロングトレイル、十勝シーニックバイウエイなどと連携して、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりに取り組んでいます。このほか、地域との連携・協働の取り組みも進められており、帯広農業高校とパートナーシップ協定を結び、同校の生徒を対象とした十勝農業の講義や体験学習を実施するなど、農業王国十勝の次世代の担い手育成にも取り組んでいます。

●十勝総合振興局

北海道十勝総合振興局では、新・北海道総合計画（ほっかいどう未来創造プラン）に基づき、3つの地域重点プロジェクト（「とちち「農」ブランドパワーUPプロジェクト」、「食の王国とちち観光プロジェクト」、「美しくエコなとちちづくりプロジェクト」）を基軸とした地域づくりを進めています。

「とちち「農」ブランドパワーUPプロジェクト」では、農業王国である十勝の優位性を生かし、「食」の安全・安心に対するニーズにこたえる農産物の生産を基本とし、生産から加工、販売までの一貫した取組を促進することにより、農産物の付加価値を向上させるとともに、産学官連携による高機能性新素材・食品の開発を進め、個性豊かで自立した十勝農業・農村の発展を目指し、国際競争に打ち克つ、強いブランド力をもった食産業の構築に向け取り組んでいます。

「食の王国とかち」観光プロジェクトでは、北海道横断自動車道の開通により十勝と道央圏がつながったことや旅行形態の変化などを踏まえ、基幹産業である一次産業との連携や食材王国十勝の安全・安心な「食」を核として、地域に点在する自然景観・北海道遺産・ファームインなどを利用したグリーンツーリズム・温泉・アウトドアフィールドといった観光資源を組み合わせた観光地づくりを進めています。また、ホスピタリティ向上の推進や、オール十勝のコーディネート役として十勝の魅力発信に積極的に取り組んでいます。

「美しくエコなとかちづくりプロジェクト」では、農業生産を背景としたバイオマス資源や日本有数の日照時間などの地域の優位性を踏まえ、再生可能エネルギーの地産地消を積極的に促進しています。また、温暖化など地球規模での環境問題の解決に向け、住民に身近なエコ活動を促進することで、住民の主体的な環境保全活動の定着や、二酸化炭素吸収源となる森林づくりを進めています。

●十勝管内市町村

十勝管内の市町村においても、帯広開発建設部や十勝総合振興局、十勝町村会をはじめとする行政機関や関係団体、大学・試験研究機関、金融機関等と連携して、農林漁業や商工業、観光などの産業振興施策を実施しています。

4 フードバレーとかちの施策の進め方

「フードバレーとかち」を推進していく上では、プラットフォームとなるフードバレーとかち推進協議会が中心となり、プレイヤーとなる生産者や企業などが活動するためのコーディネート機能を発揮することが重要です。

協議会の構成メンバーである、農林漁業団体や商工団体、金融機関、大学・試験研究機関、さらには、帯広開発建設部や十勝総合振興局、市町村の行政機関が連携し、国際戦略総合特区などの国の支援制度等を活用しながら、十勝全体の力を結集して取り組んでいきます。

また、施策の展開にあたっては、オール十勝での取り組みはもとより、各市町村に

おける独自の取り組みやテーマごとに連携した取り組みなど、柔軟に対応しながら進めていきます。

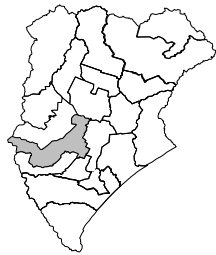
5 参考資料

(1) 市町村の現状

帯広市	3 4
音更町	3 5
士幌町	3 6
上士幌町	3 7
鹿追町	3 8
新得町	3 9
清水町	4 0
芽室町	4 1
中札内村	4 2
更別村	4 3
大樹町	4 4
広尾町	4 5
幕別町	4 6
池田町	4 7
豊頃町	4 8
本別町	4 9
足寄町	5 0
陸別町	5 1
浦幌町	5 2

(2) 関係機関・団体一覧 5 3

帯広市



【主な指標】

人口：168,464人 ●製造品出荷額等：1,166.3億円（H21）
（H23.3月末） ●農業産出額：260.9億円（H18）
面積：618.94km² ●観光客入込数：2378.2千人（H22）

帯広市は、十勝圏における中核都市として、金融・商業機能などが集積しているほか、十勝の空の玄関となるとかち帯広空港をはじめ、鉄道やバス交通などの結節点機能を有しています。

農業は畑作4品を中心とした大規模農業が展開されており、特に、長いものは海外に輸出されています。これらの豊富な農畜産物などを活用した食関連企業や、帯広畜産大学などの大学・試験研究機関が立地しています。このほか、「環境モデル都市」として、余剰・規格外作物を活用したバイオ燃料の研究・利用などの取り組みを進めています。

世界で唯一のばんえい競馬や愛国・幸福駅、北の屋台などには、十勝管内外から多くの観光客が訪れています。

■農林水産物

○十勝川西長いも ○大正メークイン ○大正長いも ○大正だいこん

■特産品

○豚丼 ○スイーツ ○ハム・ソーセージ ○十勝おびひろ枝豆サラダ麺

■大学・試験研究機関等

○帯広畜産大学 ○十勝圏地域食品加工技術センター
○十勝産業振興センター ○種苗管理センター十勝農場

■食関連工場等

○(株)明治十勝帯広工場 ○カルビーポテト(株)帯広工場

■観光・物販

○ばんえい競馬 ○とかちむら ○北の屋台 ○愛国・幸福駅 ○八千代牧場
○紫竹ガーデン ○真鍋庭園 ○緑ヶ丘公園

■イベント等

○平原まつり ○氷祭り ○菊まつり ○花火大会

■その他

○西20条北工業団地

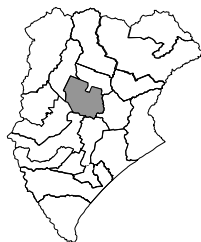


帯広市発祥の「豚丼」



世界で唯一の「ばんえい競馬」

音更町



【主な指標】

人口：45,600人 ●製造品出荷額等：658.4億円（H21）
 （H23.3月末） ●農業産出額：213.1億円（H18）
 面積：466.09km² ●観光客入込数：1278.3千人（H22）

音更町は、広大で肥沃な十勝平野のほぼ中央に位置し、国内有数の生産高を誇る小麦・大豆・小豆・てん菜・馬鈴しょなどの農産物の生産のほか、酪農・畜産も盛んです。

また、国道241号線沿いには大型ショッピングゾーンが形成され、町内外から多くの買物客が訪れています。

さらに、道東自動車道音更帯広インターチェンジ周辺に工業団地を造成し、企業誘致を進めています。

また、北海道遺産にも選定された世界でも珍しい「植物性モール温泉」で知られている十勝川温泉や道立十勝エコロジーパークなどがあり、四季を通じて観光客が訪れています。

■農林水産物

○音更大袖振大豆 ○人参 ○ブロッコリー ○小麦 ○小豆 ○長いも

■特産品・グルメ

○煮豆缶 ○十勝川モール温泉豚 ○十勝川モール温泉顔パック・入浴剤・美容ジェル
 ○すずらん和牛 ○チーズ・バター ○なたね油

■大学・試験研究機関等

○家畜改良センター十勝牧場 ○帯広大谷短期大学

■食関連工場等

○よつば乳業(株)十勝主管工場 ○J Aおとふけ食品(株) ○(株)山本忠信商店製粉工場
 ○柳月スイートピアガーデン

■観光・物販

○十勝が丘公園（花時計ハック） ○十勝エコロジーパーク ○十勝川温泉

■イベント等

○花風景〜ハナックと花ロード ○オータムフェスタ in 十勝川 ○十勝川白鳥まつり「彩凜華」

■その他

○IC 工業団地

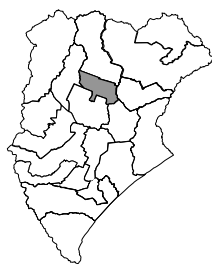


生産量日本一の「小麦」



十勝川白鳥まつり「彩凜華（さいりんか）」

士幌町



主な指標】

人口：6,579人 ●製造品出荷額等：203.3億円（H21）
 （H23.3月末） ●農業産出額：205.2億円（H18）
 面積：259.13km² ●観光客入込数：124.5千人（H22）

士幌町は、肥沃な大地と自然の恵みに培われた実り豊かな純農村地帯で、これまで機械化による大規模経営、作物転換や畜産の導入による寒冷地農業の確立、付加価値農業の推進のための農村工業の導入などを展開してきました。

特に、農村工業の代表である馬鈴薯コンビナートでは、ポテトチップス、フレンチフライ、スイートコーンの加工工場、コロケなどの冷凍食品加工場・貯蔵庫などが整備されています。

また、景勝地である士幌高原には、ヌプカの里として、宿泊や野外レクリエーション施設が整備されているのをはじめ、国道241号沿いに飲食・物産機能を持つ「ピア21しほろ」が立地しています。

■農林水産物

○じゃがいも ○小麦 ○豆類 ○スイートコーン ○しほろ牛

■特産品・グルメ

○ミニトマトジュース（しほろキュート） ○アイスクリーム（北の氷点菓）

○なまらクリームプリン

■大学・試験研究機関等

○士幌町立士幌高等学校

■食関連工場等

○JA士幌町澱粉工場

■観光・物販

○士幌高原 ○ピア21しほろ ○国道241号線沿いの桜並木 ○しほろ温泉

■イベント等

○しほろ収穫祭

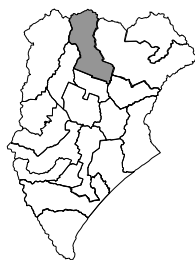


「しほろ牛」の剣先ステーキ



士幌高原「ヌプカの里」

上士幌町



【主な指標】

人口：5,171 人 ●製造品出荷額等：9.1 億円（H21）
 （H23.3 月末） ●農業産出額：102.1 億円（H18）
 面積：694.09 km² ●観光客入込数：275.0 千人（H22）

上士幌町は、十勝地方の北部、大雪山国立公園の東山麓に位置し、町内の約 76%が森林地帯と自然豊かなまちです。

産業は、畑作、酪農などの農業と林業を基幹産業としています。特に、上士幌町で生まれ育った黒毛和種は、十勝ナイタイ和牛としてブランド化され、販売されています。

また、源泉かけ流し温泉であるぬかびら源泉郷、日本一の広さを誇るナイタイ高原牧場、北海道遺産となっている旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群などの観光資源を有しています。

上士幌町は、熱気球のまちとしても全国的に有名であり、毎年開催されるバルーンフェスティバルには全国から愛好者が集まります。

■農林水産物

○十勝ナイタイ和牛 ○鹿肉 ○ハチミツ

■特産品・グルメ

○十勝ハーブ牛 ○ミルクジャム ○豆缶 ○十勝石工芸品 ○木工品

■大学・試験研究機関等

○全農飼料畜産中央研究所 E T センター ○全農飼料畜産中央研究所種豚開発センター

■観光・物販

○ナイタイ高原牧場 ○ぬかびら源泉郷 ○旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群
 ○三国峠 ○糠平湖

■イベント等

○バルーンフェスティバル

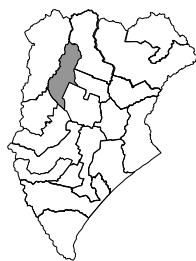


「上士幌ナイタイ高原」牛放牧の様子



「糠平湖」のワカサギ釣り

鹿追町



【主な指標】

人口：5,646人 (H23.3月末) ●製造品出荷額等：非公表 (H21)
面積：402.86 km² ●農業産出額：130.7億円 (H18)
●観光客入込数：728.6千人 (H22)

鹿追町は、十勝地方の西北、大雪山系の東山麓に位置しています。

基幹産業である農業は、畑作と酪農を中心として営まれています。そばやキャベツなども生産されています。

このほか、国内最大級のバイオガスプラントを有し、環境に配慮した地域循環型農業を推進しています。

大雪山国立公園唯一の自然湖“然別湖”を擁し、夏は“白蛇姫まつり”、冬は結氷した湖上で“しかりべつ湖コタン”が開かれます。アウトドア体験や農業体験など滞在型観光の推進や「花と芝生のまちづくり」により年間70万人を超える観光客が訪れています。

■農林水産物

○オショロコマ ○そば

■特産品・グルメ

○鹿追そば ○鹿追焼き(陶芸品) ○チーズ ○アイスクリーム ○豚肉

■大学・試験研究機関等

○鹿追町環境保全センター

■食関連工場等

○鹿追チーズ工房

■観光・物販

○然別湖 ○然別峡 ○神田日勝記念美術館 ○福原記念美術館
○鹿追町ライディングパーク ○道の駅しかおい

■イベント等

○ふるさと産業まつり ○鹿追そばまつり ○白蛇姫まつり ○しかりべつ湖コタン

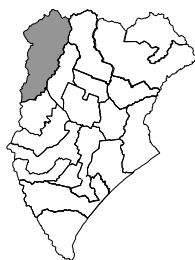


「鹿追そば祭り」の様子



然別湖の冬の風物詩「しかりべつ湖コタン」

新得町



【主な指標】

人口：6,628人 (H23.3月末)	●製造品出荷額等：32.6億円 (H21)
面積：1063.79km ²	●農業産出額：76.4億円 (H18)
	●観光客入込数：935.4千人 (H22)

新得町は、雄大な東大雪の山々と日高山脈に抱かれた自然豊かなまちであり、鉄道交通では、道央からの十勝における玄関口となっています。

基幹産業としては、農業が営まれているほか、林業や観光業が町の主要産業となっています。特に、新得そばや新得地鶏などは、地域の特産品として幅広く知られています。

また、観光では、四季に彩られた自然景観の中で、ラフティングやカヌー、乗馬、エコトロッコなどのアウトドア体験のほか、ファームインや農業・酪農体験やそば打ちなども体験もできる体験型観光が行われています。

■農林水産物

○新得地鶏 ○原木しいたけ

■特産品・グルメ

○新得そば ○エゾ鹿肉 ○サホロ焼酎 ○十勝漬 ○チーズ

■大学・試験研究機関等

○畜産試験場 ○林業試験場道東支場

■食関連工場等

○農事組合法人共働学舎新得農場 ○新得物産(株) ○さほろ酒造(株) ○(株)キョウシヨク新得工場

■観光・物販

○狩勝峠 ○トムラウシ温泉 ○旧狩勝線跡 ○サホロリゾート ○ベアマウンテン

■イベント等

○しんとく新そば祭り ○大雪まつり

■その他

○屈足工業団地

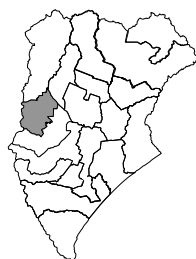


「新得そば」



「サホロリゾート」での十勝川ラフティング

清水町



【主な指標】

人口：10,232人
(H23.3月末)
面積：402.18 km²

●製造品出荷額等：282.1億円 (H21)
●農業産出額：182.8億円 (H18)
●観光客入込数：71.1千人 (H22)

清水町は、十勝平野の西部、日高山脈を背景として市街地を形成しており、日勝峠や北海道横断自動車十勝清水 IC があり、道央圏との自動車交通の要衝に位置しています。

豊かな大地と清らかな水の恵みを受けた農業が行われており、小麦・豆類・てん菜や生乳などが生産されています。また、それらを加工する製糖工場などの農産加工企業が立地しています。また、地元産の牛肉・鶏卵を使った「十勝清水牛玉ステーキ丼」が新・ご当地グルメになっています。

このほか、規格外・余剰農産物を活用したバイオエタノールの製造や、畜産農家と畑作農家が連携した資源循環型農業に取り組んでいます。

■農林水産物

○十勝若牛 ○クリーン豆 ○ホワイトアスパラガス ○しみず有機

■特産品・グルメ

○十勝清水牛玉ステーキ丼 ○第九のまちしみず(クッキー) ○牛とろフレーク ○生そば
○大平原ハーモニーエッグ ○飲むヨーグルト ○十勝清水ようかん ○ほくろ大福
○第九のしずく ○豚丼名人 ○グリーンめん

■大学・試験研究機関等

○(社)ジェネティクス北海道十勝北見事業所

■食関連工場等

○ホクレン清水製糖工場 ○プリマハム(株)北海道工場 ○日本甜菜製糖(株)(イースト) ○マルマス(株)十勝清水工場(冷凍食品)

■観光・物販

○清水公園 ○日勝峠展望台 ○清水円山展望台 ○美蔓パノラマパーク ○十勝千年の森

■その他

○緑ヶ丘工業団地

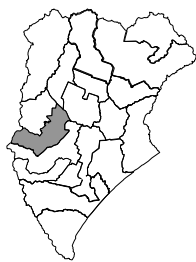


清水町の新ご当地グルメ
「十勝清水牛玉ステーキ丼」



日高山脈を一望できる「美蔓パノラマパーク」

芽室町



【主な指標】

人口：19,369人 (H23.3月末) ●製造品出荷額等：736.0億円 (H21)
 面積：513.91km² ●農業産出額：226.2億円 (H18)
 ●観光客入込数：189.5千人 (H22)

芽室町は、肥沃な大地と気候条件に恵まれ、農業を基幹産業とし、小麦、てん菜、馬鈴しょ、豆類のほか、全国一の生産量を誇るスイートコーンなどが生産されています。

また、日本甜菜製糖など農畜産・林業関連企業を中心とした約230社からなる東工業団地を形成しているのをはじめ、北海道農業研究センターや十勝農業試験場などの試験研究機関が立地し十勝農業の発展に大きく貢献しています。

観光では、スキー場やゴルフ場のある新嵐山スカイパークを中心に、氷灯夜やイリスフェスタに代表される各種イベントや、町内産の農産物を活用した新・ご当地グルメの「十勝芽室コーン炒飯」など、町民主体の活動が行われています。

■農林水産物

○スイートコーン ○じゃがいも

■特産品・グルメ

○ビートオリゴ糖 ○ニジマス加工品 ○十勝芽室コーン炒飯

■大学・試験研究機関等

○北海道農業研究センター ○十勝農業試験場

■食関連工場等

○日本甜菜製糖(株)芽室製糖所 ○(株)明治十勝工場

■観光・物販

○新嵐山スカイパーク ○芽室公園

■イベント等

○氷灯夜 ○イリス・フェスタ・イン・めむろ

■その他

○東工業団地



芽室町の新ご当地グルメ
「十勝芽室コーン炒飯」



「ゲートボール」発祥の地

中札内村



【主な指標】

人口: 4,041 人

●製造品出荷額等: 204.1 億円 (H21)

(H23.3 月末)

●農業産出額: 87.4 億円 (H18)

面積: 292.69 km²

●観光客入込数: 956.4 千人 (H22)

中札内村は、日高山脈中央部を源とする清流・札内川流域に位置しています。

基幹産業である農業では、畑作4品目のほか、酪農、養豚、養鶏が行われています。特に、えだまめは、広く海外にも輸出されています。

「ピョウタンの滝」がある札内川園地は、滝周辺の豊富なマイナスイオンを浴びながら自然豊かな園内を散策することができます。このほか、柏林に囲まれる「中札内美術村」には相原求一朗美術館や小泉淳作美術館のほか、「道の駅なかさつない」では、レストランや屋外物産販売所があり、新鮮な地元食材が提供され、多くの観光客が訪れています。

また、夏に開催される「花フェスタ」では様々な庭が一般開放されオープンガーデンが楽しめます。

■農林水産物

○えだまめ

■特産品・グルメ

○中札内田舎どり ○カマンベールチーズ ○そのままえだ豆 ○スモークチキン

○思いやり生乳

■食関連工場等

○南十勝農産加工農業協同組合連合会 ○(有)十勝野フロマージュ

■観光・物販

○札内川園地ピョウタンの滝 ○六花の森 ○中札内美術村 ○花畑牧場

○中札内農村休暇村フェーリエンドルフ

■イベント等

○花フェスタ

■その他

○ポプラ工業団地



鮮度抜群の「中札内枝豆」



「中札内農村休暇村フェーリエンドルフ」

更別村



【主な指標】

人口：3,418 人
(H23.3 月末)
面積：176.45 km²

●製造品出荷額等：非公表 (H21)
●農業産出額：92.7 億円 (H18)
●観光客入込数：35.2 千人 (H22)

更別村は、雄大な日高山脈の麓に広がる農業地帯であり、総面積の約 7 割が耕地になっています。機械化による大規模な農業が営まれ、畑作 4 品に加え、いんげん、スイートコーン、キャベツなどの野菜が生産されています。また、畜産も盛んで、乳用牛や黒毛和牛を中心に肉用牛が飼養されています。

また、毎年 7 月には日本唯一のイベントである「国際トラクターBAMBA」（トラクターが重量級のソリを引き速さを競う）が開催されているほか、公認パークゴルフ場「プラムカントリー」、オートキャンプ場「さらべつカントリーパーク」などの施設があり、多くの人々が訪れています。

■農林水産物

○いんげん ○スイートコーン ○キャベツ

■特産品・グルメ

○つぶつぶでんぷん ○ポテトチップス ○ビーフカレー ○金時甘納豆

■大学・試験研究機関等

○道立更別農業高校

■食関連工場等

○(株)ニチロ十勝食品 ○さらべつチーズ工房

■観光・物販

○さらべつカントリーパーク（オートキャンプ場） ○どんぐり公園プラムカントリー（パークゴルフ場）
○十勝スピードウェイ ○道の駅さらべつ「観光と物産の館ピポパ」

■イベント等

○国際トラクターBAMBA



「十勝スピードウェイ」で開催される
ママチャリ耐久レース



迫力満点「国際トラクターBAMBA」

大樹町



【主な指標】

人口：6,040 人 (H23.3 月末)	●製造品出荷額等：170.7 億円 (H22)
面積：816.38 km ²	●農業産出額：106.3 億円 (H18)
	●観光客入込数：38.2 千人 (H21)
	●漁業生産高：13.0 億円 (H21)

大樹町は、清流日本一に過去 7 度選ばれ、砂金掘りが楽しめる「歴舟川」が町内を流れています。

農業は酪農が中心で、広大な草地に乳牛、肉牛が飼育されています。また、畑作では、畑作 4 品のほか、野菜類が栽培されています。

漁業では大樹漁港と旭浜漁港を拠点に、サケ、毛がに、ししゃも、ホッキ貝などが漁獲され、生花苗沼やホロカヤントーなどの内水面漁業では、ワカサギ、シジミ、ジュンサイなどが水揚げされています。

町の東側太平洋沿岸には「晩成温泉」があり、また、その周辺では夏は原生花園が広がり、冬はワカサギ釣りが楽しめます。カムイコタン公園周辺にはオートキャンプ場が整備されており、坂下仙境をはじめ景勝地が広がっています。

■農林水産物

○じゅんさい ○秋鮭 ○ししゃも ○毛がに

■特産品・グルメ

○大樹納豆 ○ナチュラルチーズ ○ホエー豚

■大学・試験研究機関等

○大樹町・大樹漁協さけますふ化施設 ○大樹航空宇宙実験場

■食関連工場等

○雪印メグミルク(株)大樹工場 ○半田ファーム ○アグリスクラム北海道

■観光・物販

○カムイコタン ○ホロカヤントー周辺 ○晩成温泉 ○萌和山森林公園
○コスモスガーデン ○晩成社史跡

■イベント等

○暦舟清流まつり ○柏林公園まつり ○砂金掘り探訪会 ○歴舟川清流鯉のぼり
○町民物産感謝祭

■その他

○川南工業団地

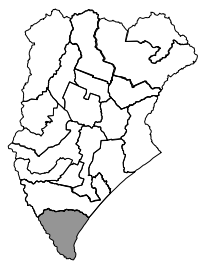


地元の生乳を使った美味しい「チーズ」



「大樹町多目的航空公園」

広尾町



【主な指標】

人口：8,043 人
(H23.3 月末)
面積：596.16 km²

●製造品出荷額等：62.9 億円 (H21)
●農業産出額：45.4 億円 (H18)
●観光客入込数：108.8 千人 (H22)
●漁業生産高：32.7 億円 (H21)

広尾町は、十勝地方の最南端に位置し、十勝の海の玄関口となる重要港湾「十勝港」を有し、「農業を支える港・アグリポート」としての役割を担っています。

漁業は、漁獲量日本一を誇る「ししゃも」を筆頭に種類豊富な漁業資源に恵まれ、1 年を通して新鮮な魚介を味わうことができます。

農業は、酪農を基幹としながら、馬鈴しょ、てん菜などを主要作物とする酪農畑作兼業経営が行われてきましたが、酪農業への専門化が進んでいます。

また、ノルウェー・オスロ市から認定された「サンタランド」のまちとしても有名で、サンタメール事業など様々な活動を行っています。シンボルゾーンの「サンタの山」には、イルミネーションが点灯される 10 月からクリスマスにかけて多くの観光客が訪れます。

■農林水産物

○ししゃも ○毛がに ○鮭 ○昆布

■特産品・グルメ

○イクラ

■大学・試験研究機関等

○十勝釧路管内さけます増殖事業協会広尾収容場 ○広尾漁協さけますふ化施設楽古収容場

■食関連工場等

○とから飼料(株)

■観光・物販

○サンタの山（大丸山森林公園）〈つつじ〉 ○サンタの家 ○フンベの滝（黄金道路）
○シーサイドパーク広尾〈オバナエリイワ〉 ○十勝神社（本通公園）

■イベント等

○広尾つつじまつり ○十勝港まつり ○サンタランドツリー点灯式 ○広尾毛がにまつり

■その他

○重要港湾「十勝港」 ○十勝港工業団地

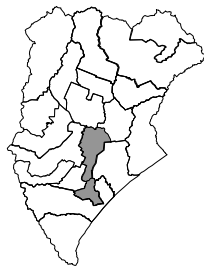


旬の海産物を提供「広尾毛がにまつり」



十勝の海の玄関「十勝港」

幕別町



【主な指標】

人口：27,461 人 ●製造品出荷額等：222.7 億円 (H21)
 (H23.3 月末) ●農業産出額：218.9 億円 (H18)
 面積：478.00 km² ●観光客入込数：502.0 千人 (H22)

幕別町は、平成18年2月6日に忠類村と合併し、新たな一步を踏み出しました。

十勝平野の肥沃な土壌と気候に恵まれた自然環境の中で、基幹産業である農業が営まれており、畑作4品のほか野菜類や、忠類地域では食用ゆり根が栽培されています。

また、畜産も盛んで、肉用牛や乳用牛も飼養されています。

観光では、パークゴルフの発祥の地として知られており、多くの愛好者が訪れています。また、幕別地域や忠類地域にはそれぞれ温泉があるほか、ナウマン象の化石発掘現場やナウマン象記念館、千代田えん堤などが観光名所となっています。

このほか、明野ヶ丘公園や白銀台スキー場では、スキーが楽しめ、忠類ナウマン全道そり大会が開催されています。

■農林水産物

○食用ゆり根 ○和稔じょ ○インカのめざめ ○レタス

■特産品・グルメ

○十勝美豆(とかちビーンズ、大豆缶詰) ○十勝大福 ○黒豆きなこ ○焼酎

■大学・試験研究機関等

○家畜改良事業団北海道産肉能力検定場 ○北海道さけますふ化施設幕別・札内収容場

■食関連工場等

○十勝大福本舗(株) ○道東ライス(株) ○小田壺(株) ○共栄ピクルス食品(有) ○トミイチ(株) 十勝支店 ○大望(株)

■観光・物販

○忠類ナウマン象記念館 ○シーニックカフェ ○ピラ・リ(明野ヶ丘公園) ○丸山展望台
 ○道の駅(忠類) ○新田牧場 ○十勝ヒルズ ○千代田新水路魚道観察室(ととろ〜ど)

■イベント等

○忠類ナウマン全道そり大会 ○まくべつ夏フェスタ ○忠類ふるさと盆踊り大会
 ○まくべつ産業まつり ○忠類どんとこいむら祭り

■その他

○リバーサイド幕別 ○札内東工業団地

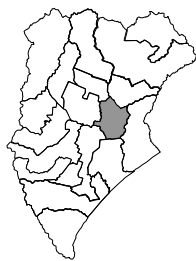


新たな名産「和稔じょ」



幕別町発祥の「パークゴルフ」

池田町



【主な指標】

人口：7,690 人
(H23.3 月末)

面積：371.91 km²

●製造品出荷額等：73.6 億円 (H21)

●農業産出額：67.4 億円 (H18)

●観光客入込数：275.8 千人 (H22)

池田町は、十勝地域の中央からやや東に位置し、地形は平坦で、ワインを中心としたまちづくりが行われています。

農業は、「十勝ワイン」の原料となるブドウ栽培のほか、畑作4品、いんげん、野菜などが作付けされています。また、乳用牛や肉用牛の飼養のほか養豚も行われています。

ブドウ・ブドウ酒研究所であるワイン城では、ワインの知識を提供するため、ガイドツアーや試飲セミナーなどを行っており、十勝ワインを「体感」することができます。また、ワイン城の敷地内には、ドリームズ・カム・トゥルーの資料を展示する「DCTgarden IKEDA」があり、観光スポットとして人気があります。

■農林水産物

○いけだ牛 ○醸造用ブドウ

■特産品・グルメ

○十勝ワイン ○十勝ブランデー ○いきがい焼き

■大学・試験研究機関等

○ブドウ・ブドウ酒研究所

■観光・物販

○ワイン城 ○まきばの家 ○DCTgarden IKEDA ○清見ヶ丘公園
○千代田えん堤

■イベント等

○いけだ夏まつり ○秋のワイン祭り ○十勝ワインヌーボまつり

■その他

○池田北工業団地 ○利別第一農工団地 ○利別第二農工団地

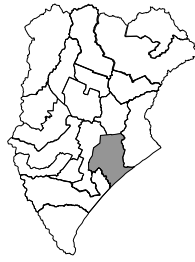


「十勝ワイン」



「池田ワイン城」

豊頃町



【主な指標】

人口：3,558 人	●製造品出荷額等：5.8 億円（H21）
（H23.3 月末）	●農業産出額：88.0 億円（H18）
面積：536.52 km ²	●観光客入込数：47.9 千人（H22）
	●漁業生産高：13.9 億円（H21）

豊頃町は、十勝川の最下流に位置する十勝発祥のまちです。

基幹産業である農業では、畑作 4 品のほか、だいこんやいんげんなどが栽培されています。また、畜産は、乳用牛や肉用牛が飼養されており、経営規模の拡大が進む傾向にあります。

漁業は、大津地域を拠点として営まれ、サケの人工孵化放流事業の成果により、サケ定置網漁業の水揚量が大半を占めています。

まちのシンボル樹齢 140 年の「はるにれ」は、2 本の木が仲睦まじく支えあう美しい姿が魅力で、年間を通し観光に訪れる方が多い人気のスポットとなっています。

また、秋には「産業まつり」が開催され、海と大地の実りを堪能する人々で賑わいます。

■農林水産物

○大津産秋鮭 ○ししゃも ○ほっき ○つぶ ○毛がに ○十勝だいこん ○なたね

■特産品・グルメ

○わかさぎの佃煮 ○海産物加工品 ○蝦夷鹿・蝦夷豚肉のハム・ソーセージ ○スイーツ
○なたね油「エコリーナ」 ○切干大根（たんざく、せんざり）

■食関連工場等

○株式会社エコ E R C 豊頃工場

■観光・物販

○はるにれの木（十勝川河川敷） ○茂岩山自然公園キャンプ場 ○茂岩山パークゴルフ場
○長節湖 ○湧洞湖 ○長節湖原生花園 ○湧洞湖原生花園 ○トイトッキ浜原生花園
○とよころ物産直売所 ○食彩はるにれ

■イベント等

○とよころ産業まつり ○とよころ夏まつり ○大津港大漁まつり

■その他

○豊頃地区工業団地

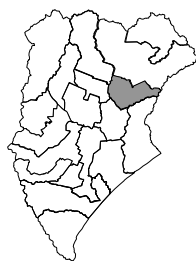


太切りでおいしい「切干大根」



豊頃町のシンボル「はるにれの木」

本別町



【主な指標】

人口：8,264人 ●製造品出荷額等：372.2億円（H21）
 （H23.3月末） ●農業産出額：95.2億円（H18）
 面積：391.99km² ●観光客入込数：323.0千円（H22）

本別町は、十勝の東北部に位置し、利別川が街の中心を緩やかに流れています。

農業は、畑作4品が主要作物ですが、特に、豆は良質・安全・安心な食材として、豆腐、みそ、しょうゆ、納豆などへの加工や、健康食品としても注目されている黒豆は、「キレイマメ」のブランド名で全国に発信されています。

観光では、義経の里本別公園や道の駅などの観光施設があり、また、町内外からの多くの人々が訪れる「きらめきタウンフェスティバル」が行われており、北海道横断自動車道の帯広・釧路・北見を結ぶジャンクションに位置することから、高速道路を利活用した観光振興が期待されています。

■農林水産物

○豆類 ○小麦 ○甜菜 ○スイートコーン ○舞茸

■特産品・グルメ

○キレイマメ（豆製品ブランド） ○生豆 ○豆加工品 ○スイーツ ○砂糖 ○乳製品

■大学・試験研究機関等

○道立農業大学校

■食関連工場等

○北海道糖業㈱本別製糖所 ○㈱明治本別工場

■観光・物販

○本別公園・幽仙峡 ○愛のかけ橋（ライトアップ） ○本別大坂（国道274号）から望む夜景
 ○道の駅「ステラ★ほんべつ」 ○義経の里

■イベント等

○本別山溪つつじ祭り ○本別きらめきタウンフェスティバル ○ひまわり迷路

■その他

○本別勇愛工業団地

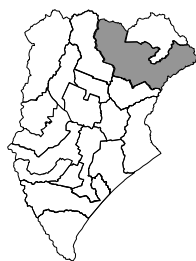


本別の豆を使ったブランド「キレイマメ」



本別道の駅「ステラ★本別」

足寄町



【主な指標】

人口：7,762 人 (H23.3 月末)	●製造品出荷額等：34.3 億円 (H21)
面積：1,408.09 km ²	●農業産出額：88.8 億円 (H18)
	●観光客入込数：556.4 千人 (H22)

足寄町は十勝の東北部に位置し、管内市町村の中で最も広い面積を有しています。

この広大な大地で、畑作・酪農が営まれています。畑作では、小麦、てん菜、豆類のほか、高さ2～3mにもなる螺湾ブキなどが収穫されています。また、酪農では、乳用牛や黒毛和種など肉用牛が飼養されており、東京ドーム約270個分の面積を持つ大規模草地育成牧場も整備されています。

観光名所は、独特の湖面の色彩が訪れた人を魅了するオンネトーがあるほか、ふるさと銀河線の旧足寄駅である足寄銀河ホール21や足寄動物化石博物館などの集客施設が整備されています。

■農林水産物

○螺湾（らわん）ブキ ○馬肉 ○豆類

■特産品・グルメ

○ナチュラルチーズ ○木質ペレット

■大学・試験研究機関等

○九州大学農学部附属北海道演習林

■食関連工場等

○(株)あしよろ農産公社

■観光・物販

○オンネトー ○雌阿寒岳 ○足寄動物化石博物館 ○あしよろ銀河ホール21（道の駅）
○エーデルケーゼ館（道の駅足寄湖）

■イベント等

○足寄ふるさと花まつり ○足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会 ○道の駅まつり

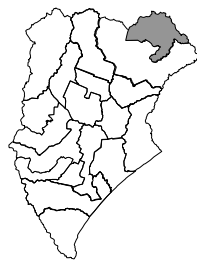


北海道遺産にも指定「ラワンブキ」



神秘の湖「オンネトー」

陸別町



【主な指標】

人口：2,720人 ●製造品出荷額等：4.6億円（H21）
 （H23.3月末） ●農業産出額：33.7億円（H18）
 面積：608.81km² ●観光客入込数：166.8千人（H22）

陸別町は、十勝地域の北東部に位置し、豊かな自然に恵まれた林業と酪農のまちで、「寒さ」や「星」をテーマとしたまちづくりを進めています。

農業は、乳用牛を中心に飼養されているほか、山菜の収穫、アスパラの栽培にも力を入れています。

日本最大級の公開型望遠鏡を備えた「銀河の森天文台」では、星やオーロラなどに関する特色あるイベントが年間通して開催されており、多くの天文ファンの注目を集めています。

また、廃線となったふるさと銀河線を体験鉄道公園として復活させた「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」は、鉄道ファンだけでなく家族で楽しめる施設として人気を集めています。

■農林水産物

○山菜（山ぶき、うど、ぎょうじゃにんにく他）

■特産品・グルメ

○山菜（山ぶき、うど、ぎょうじゃにんにく他）

■大学・試験研究機関等

○国立環境研究所 ○名古屋大学太陽地球環境研究所 ○北海道大学大学院理学研究院

■観光・物販

○ふるさと銀河線りくべつ鉄道 ○銀河の森天文台 ○銀河の森コテージ村 ○かぶとの里

■イベント等

○しばれフェスティバル

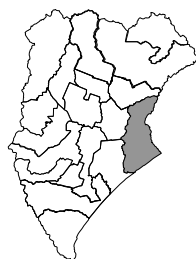


美味しい山の幸「山菜」



「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」

浦幌町



【主な指標】

人口：5,667人 (H23.3月末)	●製造品出荷額等：95.2億円 (H21)
面積：729.64km ²	●農業産出額：80.9億円 (H18)
	●観光客入込数：41.1千人 (H22)
	●漁業生産高：6.9億円 (H21)

浦幌町は、十勝管内の東端に位置し、町の面積4分の3が森林という自然環境と海産資源が豊富な太平洋に面したまちです。

農業は、畑作4品が主要作物であり、その他、生乳を主体とする酪農が盛んで、土地利用型農業が行われています。

漁業は、沿岸漁業が主体で、秋さけ定置網漁、ししゃも漁、ほっき漁、つぶかご漁などが営まれています。

観光施設としては、「道の駅うらほろ」や「うらほろ森林公園」などがありますが、特に、平成23年3月に「うらほろ留真温泉」がリニューアルオープンし、道内トップクラスのアルカリ泉質は、美肌の湯として人気が高く、また四季折々の景色と自然を体感できる温泉として注目を集めています。

■農林水産物

○さけ ○ししゃも ○ほっき・つぶ ○うらほろ和牛 ○白花生

■特産品・グルメ

○ギョウジャニンニクドリンク ○ギョウジャニンニク入りポークソーセージ
○十勝のワルッコ(山わさびの醤油漬) ○鮭とばスティック ○ラーチ・テーブル ○木炭

■食関連工場等

○東部十勝農産加工農業協同組合連合会 ○浦幌乳業(株) ○サンマルコ食品(株)
○浦幌フリーズドライ(株)

■観光・物販

○うらほろ森林公園 ○昆布刈石展望台 ○豊北原生花園 ○道の駅「うらほろ」
○うらほろ留真温泉

■イベント等

○ふるさとのみのりまつり ○うらほろ収穫祭 ○うらほろ物産フェア



「ふるさとのみのりまつり」



町営温泉「うらほろ留真温泉」

(2) 関係機関・団体一覧

区 分	名 称	所 在 地
大学	国立大学法人帯広畜産大学	帯広市稲田町西 2 線 11
	帯広大谷短期大学	音更町希望が丘 3 番地 3
試験研究等機関	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 芽室研究拠点	芽室町字新生南 9 線
	独立行政法人種苗管理センター十勝農場	帯広市幸福町東 4 線 210-6
	独立行政法人家畜改良センター十勝牧場	音更町駒場並木 8 番 1
	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 十勝農業試験場	芽室町字新生南 9 線 2 番地
	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 畜産試験場	新得町字新得西 5 線 39 番地 1
	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター	帯広市西 22 条北 2 丁目 23-10
農業教育・研修機関	北海道立農業大学校	本別町西仙美里 25-1
	北海道帯広農業高等学校	帯広市稲田町西 1 線 9 番地
	北海道音更高等学校	音更町駒場西 1
	士幌町立士幌高等学校	士幌町字上音更 21-15
	北海道更別農業高等学校	更別村字更別基線 95
農業協同組合	帯広市川西農業協同組合	帯広市川西町西 2 線 61-1
	帯広大正農業協同組合	帯広市大正本町東 1 条 2 丁目 1
	音更町農業協同組合	音更町大通 5 丁目 1
	木野農業協同組合	音更町木野大通 6 丁目 1
	士幌町農業協同組合	士幌町字士幌西 2 線 159
	上士幌町農業協同組合	上士幌町字上士幌東 2 線 238
	鹿追町農業協同組合	鹿追町新町 4 丁目 51
	新得町農業協同組合	新得町 1 条南 3 丁目 1
	十勝清水町農業協同組合	清水町南 2 条 1 丁目 8
	芽室町農業協同組合	芽室町西 4 条南 1 丁目 1 番地 9
	中札内村農業協同組合	中札内村東 1 条南 2 丁目 14
	更別村農業協同組合	更別村字更別南 2 線 92
	大樹町農業協同組合	大樹町 1 条通 1
	広尾町農業協同組合	広尾町字紋別 19 線 51-20
	幕別町農業協同組合	幕別町本町 45
	札内農業協同組合	幕別町札内中央町 467
	忠類農業協同組合	幕別町忠類栄町 259
	十勝池田町農業協同組合	池田町字利別本町 1
	十勝高島農業協同組合	池田町字高島 7
	豊頃町農業協同組合	豊頃町中央若葉町 12
	浦幌町農業協同組合	浦幌町字新町 15-1
	本別町農業協同組合	本別町北 5 丁目 2-1
	足寄町農業協同組合	足寄町南 3 条 1 丁目 18
	陸別町農業協同組合	陸別町字陸別東 2 条 1 丁目 1
	十勝畜産農業協同組合	幕別町相川 470-2
	十勝軽種馬農業協同組合	幕別町字猿別 207-2
農業団体等	十勝地区農業協同組合長会	帯広市西 3 条南 7 丁目農協連ビル
	北海道農業協同組合中央会帯広支所	帯広市西 3 条南 7 丁目農協連ビル
	北海道信用農業協同組合連合会帯広支所	帯広市西 3 条南 7 丁目農協連ビル
	ホクレン農業協同組合連合会帯広支所	帯広市西 3 条南 7 丁目農協連ビル
	全国共済農業協同組合連合会北海道事業本部帯広支所	帯広市西 3 条南 7 丁目農協連ビル
	北海道厚生農業協同組合連合会帯広厚生病院	帯広市西 6 条南 8 丁目
	北海道農業共済組合連合会道東事業部	札幌市中央区北 1 条西 7 丁目
	十勝農業協同組合連合会	帯広市西 3 条南 7 丁目農協連ビル
	北海道農業開発公社十勝支所	帯広市西 3 条南 7 丁目農協連ビル
	北海道農業開発公社十勝育成牧場	大樹町尾田 708
	農協サイロ㈱	帯広市西 2 条南 7 丁目 17 ハヤカワビル内
農業情報センター	十勝農協連農業情報センター	帯広市東 2 条南 10 丁目
家畜改良	(社)ジェネティクス北海道十勝北見事業所	清水町字清水第 5 線 18
	(社)家畜改良事業団北海道産肉能力検定場	幕別町字猿別 173-8

区 分	名 称	所 在 地
製糖工場	日本甜菜製糖(株)芽室製糖所	芽室町東芽室基線 26
	北海道糖業(株)本別製糖所	本別町勇足 52
	ホクレン清水製糖工場	清水町字清水第 1 線 71
乳業工場	よつ葉乳業(株)十勝主管工場	音更町新通 20 丁目 3
	雪印メグミルク(株)大樹工場	大樹町緑町 35
	(株)明治十勝工場(明治乳業十勝チーズ館)	芽室町東芽室北 1 線 15-2
	(株)明治十勝工場十勝帯広工場	帯広市東 6 条南 16 丁目 3
	(株)明治十勝工場本別工場	本別町新町 1 丁目
	浦幌乳業(株)	浦幌町材木町 1
研究所等	十勝農協連農産化学研究所	帯広市西 24 条北 1 丁目
	日本甜菜製糖(株)総合研究所	帯広市稲田町南 9 線西 13
	全農飼料畜産中央研究所 E T センター	上士幌町字上音更西 6 線 331-11
	全農飼料畜産中央研究所種豚開発センター	上士幌町居辺 112-3
でん粉工場	南十勝農産加工農業協同組合連合会	中札内村中札内西 2 線 230
	東部十勝農産加工農業協同組合連合会	浦幌町吉野 68
	士幌町農業協同組合澱粉工場	士幌町字士幌西 2 線 161
と畜場	(株)北海道畜産公社道東事業所十勝工場	帯広市西 24 条北 2 丁目 1-1
	池田町食肉センター	池田町字清美 277-2
肥料工場	ホクレン肥料(株)帯広工場	芽室町東芽室基線 12
飼料工場	ホクレンくみあい飼料(株)十勝工場	士幌町字士幌西 1 線 147-1
	日本甜菜製糖(株)帯広配合飼料工場	帯広市稲田町南 9 線西 13 番地
酪農検定検査協会	(株)北海道酪農検定検査協会帯広事務所	帯広市東 5 条南 12 丁目 2
漁業協同組合	十勝管内漁業協同組合長会	豊頃町大津港町 35 番地
	広尾漁業協同組合	広尾町会所前 2 丁目 79 番地
	大樹漁業協同組合	大樹町字浜大樹 322 番地先
	大津漁業協同組合	豊頃町大津港町 35 番地
森林組合等	十勝地区森林組合振興会	帯広市西 4 条南 16 丁目 10 番地 1
	西十勝森林組合	新得町字屈足基線 1 番地 9
	清水町森林組合	清水町字御影南 1 線 49 番地 4
	更別森林組合	更別村字更別南 2 線 91 番地 4
	大樹町森林組合	大樹町字下大樹 225 番地
	広尾町森林組合	広尾町西 2 条 6 丁目 16 番地
	幕別町森林組合	幕別町宝町 53 番地 1
	本別町森林組合	本別町南 4 丁目 175 番地 12
	足寄町森林組合	足寄町下愛冠 4 丁目 33 番地 13
	陸別町森林組合	陸別町字陸別本通 2 丁目 5 番 2
	浦幌町森林組合	浦幌町字帯富 98 番地 9
	十勝大雪森林組合	音更町東通 15 丁目 5 番地
	十勝広域森林組合	芽室町東 2 条 6 丁目 1 番地 5
商工会議所	帯広商工会議所	帯広市西 3 条南 10 丁目経済センタービル
商工会 観光・物産協会等	十勝管内商工会連合会	帯広市西 3 条南 10 丁目経済センタービル
	音更町商工会	音更町大通り 6 丁目 6 番地 ブロスバ 6 2 階
	士幌町商工会	士幌町士幌西 2 線 162
	上士幌町商工会	上士幌町字上士幌東 3 線 237 番地
	鹿追町商工会	鹿追町新町 1 丁目
	新得町商工会	新得町本通南 1 丁目 23 番地
	清水町商工会	清水町本通 1 丁目ハーモニープラザ内 2 階
	芽室町商工会	芽室町本通 1 丁目 19 番地
	中札内村商工会	中札内村大通南 2 丁目 24 番地
	更別村商工会	更別村字更別南 2 線 92 番地
	大樹町商工会	大樹町西本通 98 番地
	広尾町商工会	広尾町本通 5 丁目 1
	幕別町商工会	幕別町錦町 141 番地 19
	池田町商工会	池田町大通 1 丁目 35 番地

区 分	名 称	所 在 地
商工会 観光・物産協会等	豊頃町商工会	豊頃町茂岩本町 135 番地
	本別町商工会	本別町北 1 丁目
	足寄町商工会	足寄町南 1 条 3 丁目 20
	陸別町商工会	陸別町字陸別原野基線 69 番地 1
	浦幌町商工会	浦幌町本町 100 番地
	十勝観光連盟	帯広市西 2 条南 12 丁目
	帯広観光コンベンション協会	帯広市西 2 条南 12 丁目
	帯広物産協会	帯広市西 2 条南 12 丁目
	音更町十勝川温泉観光協会	音更町十勝川温泉南 12 丁目 1 番地
	土幌町観光協会	土幌町字土幌 225 番地
	上士幌町観光協会	上士幌町字上士幌東 3 線 238 番地
	鹿追町観光協会	鹿追町東町 1 丁目 15 番地 1
	新得町観光協会	新得町 3 条南 4 丁目 26 番地
	清水町観光協会	清水町南 4 条 2 丁目 2 番地
	芽室町観光物産協会	芽室町東 2 条 2 丁目 14 番地
	中札内村観光協会	中札内村大通南 2 丁目 3 番地
	更別村観光協会	更別村字更別南 1 線 93 番地
	大樹町観光協会	大樹町東本通 33 番地
	広尾町観光協会	広尾町西 4 条 7 丁目 1 番地 1
	幕別町観光物産協会	幕別町本町 130 番地
	池田町観光協会	池田町西 1 条 7 丁目 11 番地
	豊頃町観光協会	豊頃町茂岩本町 125 番地
	本別町観光協会	本別町北 2 丁目 4 番地 1
	NPO 法人あしよろ観光協会	足寄町北 1 条 1 丁目 3 番地
	陸別町観光協会	陸別町東 1 条 3 丁目 1 番地
	浦幌町観光協会	浦幌町桜町 15 番地 6
中小企業団体等	北海道中小企業家同友会とかち支部	帯広市東 2 条南 4 丁目 3-5
	北海道中小企業団体中央会十勝支部	帯広市西 3 条南 10 丁目経済センタービル
	北海道中小企業総合支援センター道東支所	帯広市西 22 条北 2 丁目 23-9 とかち財団内
	社団法人帯広法人会	帯広市西 3 条南 9 丁目太陽電気大同生命ビル
金融機関等	帯広銀行協会	帯広市西 2 条南 12-1
	北洋銀行帯広中央支店	帯広市西 2 条南 12-1
	みずほ銀行帯広支店	帯広市西 2 条南 10 丁目 17-1
	北陸銀行帯広支店	帯広市大通南 8 丁目 18
	北海道銀行帯広支店	帯広市西 3 条南 9 丁目 1 番地
	帯広信用金庫	帯広市西 3 条南 7 丁目 2
	北見信用金庫帯広支店	帯広市西 2 条南 7 丁目 2 番地
	釧路信用金庫帯広支店	帯広市西 8 条南 18 丁目 2 番 6 号
	網走信用金庫	帯広市西 5 条南 14 丁目 4 番地 1
	商工中金帯広支店	帯広市西 3 条南 6 丁目 20 番地 1
	北海道信用保証協会帯広支店	帯広市西 3 条南 6 丁目
	十勝信用組合	帯広市大通南 9 丁目 20 番地
	株式会社日本政策金融公庫帯広支店	帯広市大通南 9 丁目 4
農林水産省	北海道農政事務所帯広地域センター	帯広市西 6 条南 7 丁目
国土交通省	帯広開発建設部	帯広市西 4 条南 8 丁目
	帯広農業事務所	帯広市西 4 条南 8 丁目
	十勝南部農業開発事業所	更別村字更別南 1 線 92
	鹿追地域農業開発事業所	鹿追町泉町 1 丁目
北海道	十勝総合振興局	帯広市東 3 条南 3 丁目 十勝合同庁舎
市町村	十勝町村会	帯広市東 3 条南 3 丁目 十勝合同庁舎
	音更町	音更町元町 2 番地
	土幌町	土幌町字土幌 225 番地
	上士幌町	上士幌町字上士幌東 3 線 238 番地
	鹿追町	鹿追町東町 1 丁目 15 番地 1
	新得町	新得町 3 条南 4 丁目 26 番地

区 分	名 称	所 在 地
市町村	清水町	清水町南 4 条 2 丁目 2 番地
	芽室町	芽室町東 2 条 2 丁目 14 番地
	中札内村	中札内村大通南 2 丁目 3 番地
	更別村	更別村字更別南 1 線 93 番地
	大樹町	大樹町東本通 33 番地
	広尾町	広尾町西 4 条 7 丁目 1 番地 1
	幕別町	幕別町本町 130 番地
	池田町	池田町字西 1 条 7 丁目 11
	豊頃町	豊頃町茂岩本町 125 番地
	本別町	本別町北 2 丁目 4 番地 1
	足寄町	足寄町北 1 条 4 丁目 48 番地 1
	陸別町	陸別町字陸別東 1 条 3 丁目 1 番地
	浦幌町	浦幌町字桜町 15 番地 6
	帯広市	帯広市西 5 条南 7 丁目 1 番地
その他	財団法人十勝圏振興機構（とがち財団）	帯広市西 22 条北 2 丁目 23-9
	十勝産業振興センター	帯広市西 22 条北 2 丁目 23-9

出典：「2010 十勝の農業」、十勝総合振興局ホームページほか